（一）　第五千百四十六號　（土曜日）　新京日日新聞　昭和十二年五月二十二日
大正九年十二月十四日第三種郵便物認可

新京日日新聞
朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
本紙定價　一部五錢　一ヶ月壹圓五十錢（税）
廣告料金　普通一行壹圓五拾錢　特別一行貳圓五拾錢
發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社
電話　編輯局專用（3）三二〇五　營業局專用（3）三二〇〇
發行人　十河本榮忠
編輯人　松本勇
印刷人　水越内之介

效力延長同意書
伯林に於て調印を完了
きのふ兩國で内容發表

滿獨通商協定は昨年四月三十日東京において調印を見、同年六月一日實施され、本年五月三十一日まで效力を有するが、同協定は兩國貿易の實績に鑑み、協定第十四條に基きこれを存續すべく、本年初めよりベルリンにおいて加藤通商代表とドイツ政府との間に商議を開始し、その結果

一、同協定はそのまゝ存續すること
二、滿獨通商協定運用上手續きに關する各種の問題は別途改善を圖ること

となり、滿洲國側においては去る十一日滿獨協定運用委員會において最後的決定を見、十四日午後二時臨時國務院會議に於て之を可決し、更に十八日午前十時參議府會議にこれを報告、同日張國務總理より上奏、御裁可を仰いだ、よつて廿一日午前十一時ベルリンに於て加藤通商代表はドイツ外國爲替管理局代表ウォルタート氏との間に同協定效力延長同意書の調印を了したので、同日午後八時（ベルリン時間正十二時）新京とベルリンに於て同時に右内容ならびに當局談を發表した、滿獨通商協定延長同意書全文は別項の通りである

滿獨通商協定存續

貿易協定延長同意書

滿洲國及獨逸國の關係官憲の代表は、夫々その權限の良好妥當なるを認め、本日左の通り同意せり

一、康德三年四月三十日附滿獨貿易協定は、康德七年五月卅一日迄有效たるべし
二、康德五年一月一日以後に至り締約國の一方が他方に對し協定變更の希望を通達するときは、他方は之に付協議をなすことに同意す、若し此協議が協定變更希望通達の時より、四ケ月以内に調はざる場合は右變更を希望する締約國は相手國に對して正式通告をもつて協定の解約をなすことを得、右解約は通告後の最初の六月一日より效力を發生するものとす
三、康德七年五月三十一日以後にわたる協定更新のためには兩締約國は康德七年四月一日までに商議を開始すべし
四、本同意書は康德三年四月三十日附滿獨貿易協定第十四條を代替するものなり

康德四年五月廿一日
ベルリンにおいて二通作成す

滿洲國關係官憲代表　加藤日吉
獨逸國外國爲替管理局代表　エッチ・シー・エッチ・ウォルタート

通商關係愈よ密接
滿洲國外交部當局談

昨年四月わが國は獨逸國との間に貿易協定を締結し、同六月一日よりこれを實施し來れるが、その間兩國官民の誠意ある努力および日本側の援助の結果本協定の試驗期ともいふべき第一年度は特產物の價格維持ならびに輸出增進等において大凡そ豫期の成績をあげることを得たるのみならず彼我通商代表をそれぞれ新京とベルリンとに常駐したることにより兩國通商關係はますます今後の發展を期し得るが如き情勢を示すに至れり、而して本協定は締結に當り有效期間一ヶ年と定め置きたるにつき來る五月卅一日をもつて效力を失ふことゝなり居たるが、前述の如き第一年度の好成績に鑑みわが國としては今後も、なほ本協定を存續するを有利なりと思考せり、ドイツ側もまた本協定により外國爲替難を緩和し、且必需品たるわが特產の輸入を確保し加ふるに同國工業製品の對滿輸出を促進せんとする氣運を致せるに付大いに其存續に贊意を表し、こゝに兩國間その意嚮を同じくしたる結果、本協定を本年六月一日より更に三年間すなはち康德七年五月卅一日まで有效ならしむることに決定し、本廿一日午前十一時ベルリンにおいて滿洲國關係官憲代表加藤日吉とドイツ國外國爲替管理局代表ウォルタートとの間に協定效力延長同意書の調印を了せる次第なり、なほ右同意書中に協定變更に關する規程を設けたるは今後の情勢の變化に應じ得る餘地を存するためなり、なほ又本協定に基き滿獨間取引に關し關係官憲及當業者において執るべき手續等は從來通りにして、又運用上の不便除去については今般來滿せるドイツ通商代表クオール博士と滿洲國官憲との間および在獨加藤通商代表とドイツ官憲との間において協力し、その改善を圖ることゝなれり、なほ當局者としては本協定に直接間接關係ある日滿獨三國官民において本協定の目的および趣旨を充分了解せられ、過去一ヶ年間におけるよりも更に一段の努力を拂はれ、本協定をしてますます有意義ならしめんことをこの機會に際し特に希望する次第なり

ソ聯、スパイ嫌疑で大量死刑を敢行
モスクワ外交界に大衝動與ふ

【モスクワ廿日發國通】ソ聯政府は九日シベリア鐵道從業員四十四名を間諜、鐵道破壞工作の廉で一括極刑に處したが、これは將に一九三四年レーニングラード黨書記キーロフ暗殺事件に關し、百卅名の被告を銃殺した時以來の大量死刑であるとして、モスクワ外交界に大衝動を與へてゐる、最高軍事裁判所の審理は終始非公開で、しかも同事件に關する政府發表はハバロフスク地方新聞「太平洋の星」紙上に掲載された簡單なコンミュニケのみなので詳細は判明しないが、合同本部、併行本部等と引續く反革命事件の頻發にソ聯政府が極度の峻嚴なるスパイ取締政策に移つた證左とみられる、銃殺された被告中にはダバノヴア・シャルゴロドスカヤと呼ぶ一婦人もをり、更に死刑を免れたが尚多數のソ聯人がスパイの嫌疑で極東地方の監獄に呻吟してゐるといはれる

"支那の權益尊重"
日英對支協調の眞相打診に
イ外相、孔氏に說明

【ロンドン廿日發國通】國民政府財政部長孔祥熙氏は、廿日午前九時英國外務省にイーデン外相を訪問、長時間にわたり重要會談をとげた、同會見は雙方より極めて率直に意見を披瀝、忌憚なき意見の交換が行はれたが、特に孔祥熙氏は最近宣傳される日英對支協調につき國民政府の重大關心を述べ眞相を打診した、これに對しイーデン外相はさきに支那駐箚大使ナッチブル・ヒューゲッセン氏を通じて保障した支那の行政完成、外交獨立尊重の趣旨を再確立、英國政府はあくまで支那の權益を尊重する方針であり從つて太平洋上のある國と何等か交渉する場合國民政府の杞憂するが如き行政完成、外交獨立を侵害するが如き絕對にない旨を述べた

英首腦部と連日會見
孔氏本格的交渉へ

【ロンドン廿日發國通】國民政府財政部では孔祥熙氏が英帝戴冠式參列を機會に英政府との間に重要な政治經濟工作を企圖し、上海總稅務司メーズ氏を帶同、ロンドンに乘込んで以來既にチェンバレン藏相、イーデン外相等と會見、極東ニューディール案並びに經濟復興借款案につき協議して來たが、十九日以來英政界、產業界、金融界の領袖と會見いよいよ本格的交渉に乘り出した、孔氏は廿日午前九時内相サイモン氏を訪問密議を遂げたが、更に廿一日はチェンバレン氏と會見する豫定である、またメーズ氏も廿一日イングランド銀行總裁ノーマン氏と會見することに決定した

昭和會の解消
正式決議

【東京國通】昭和會は二十一日本部に總選擧後はじめての新代議士會を開き、望月、内田兩長老を始め新屬代議士十八名出席、まづ望月氏より時局に鑑み昭和會を解消すべしと提議した、よつてこの突然の解消提議を協議の結果全員一致これを承認、二十一日夜總會を開き昭和會解消を正式決定することゝなつた

望月長老語る

【東京國通】望月長老は昭和會の解黨につき左の如く語つた

この問題につき自分は大分以前からいろいろ考慮を重ねてゐたのであるが、かうすることが國家のため正しきことであり、必要と考へたから所屬代議士諸君に提議することゝしたのである　自分は政治生活四十年何等の私心があつてやつたことでは毛頭ない、從つて新黨組織の素地にするとかいふ考へも持つてゐない

"滿ソ水路協定破棄
ソ側に責任あり"
堀内航政局科長聲明

ソ聯アムール船舶局は四月末公文を以て哈爾濱航政局に對し滿ソ水路協定を破棄する旨通告し來つたので、廿一日哈爾濱航政局堀内總務科長は共同技術委員會委員長の名を以て

本協定廢棄の結果生起することあるべき各種不幸なる事態及び滿ソ兩國間の親善關係破棄の事實は一にソ側にあることを左の如く聲明すると共に滿ソ國境河川及び湖上において滿洲國の主權の發動する限り「航行の自由」は嚴然として永續する旨を强調した

滿ソ水路協定締結の趣旨は、滿ソ兩國境界河川及湖における雙方船舶の航行安全を保障するにあり、尤もこの種協定は滿洲國建國前にも形式的には存在したるも、事實上はソ側の壓倒優勢によりソ側の境界河川及湖を我物顏に振舞せるを默過するのやむなき狀態にありしが、康德元年九月滿側哈爾濱航政局及ソ側アムール船舶局は平等の立場に於て協定を締結し、通航船舶の安全保障のため共同技術委員會を組織し、雙方は技術と經費とを折半負擔することに取極めたり、かくて先づ同年十月黑河に第一回會議を召集し、同會則及同會附託の航行章程等の提案を審議せるが、偶々哈局側はア局側前記協定の效力發生後旬日を出でざるに滿領黑河子島に無斷立標作業を實施・（本個所は民國時代にさへ國境劃定をまつて立標することを取極め無標の儘に置かれたるものなり）・せることを確認せるにより本作業が協定第三五條違反なるは勿論政治的、軍事的に紛爭を惹起せしむる虞れありとの理由により、これが撤回に關する緊急動議を提議してソ側の猛省を促せるもア局側は本協定の性質上政治問題に觸るゝ能はずと逃れながら滿洲國側に對しては技術上において自己に有利なる國境劃定を强ふるの態度に出であまつさへ委員會會則の審議についても自案を固持して讓らず寸尺共に自己にのみ有利に導かんとせるにより十二月つひに哈局側は前記撫遠水道標識の管理に關する警告付聲明書を發し停會を宣するのやむなきに至れり、翻つて境界河川および湖の水路の狀況を觀るに、近時頻りに建造せるソ側大型艦船の通航には現狀を以てしては航行の安全を保し難き個所あるも折角の共同技術委員會議は前述ア局側の不法的態度により自繩自縛に陷り俄に召集し得ざりし爲、康德二年十二月ア局側は哈局側に無通告の儘淺瀨の單獨測量、次いで除石作業を敢行せるところを滿側に發見、阻止せられて工事進行せず、ために翌三年二月駐哈ソ聯總領事を經、委員會再會の希望を申入れ來れるにより、哈局側はこれに應諾の旨を表し、六月ブラゴウエシチエンスクに開催せり、本會議において滿側は協定に基き會則制定の第一義として主張せるもソ側は緊急作業の實施を固守して讓らず、遂に滿側はその主張を

容れて

會則制定と緊急共同作業とを併議することゝせるが當該作業案中双方の提案に懸る上松花江およびルゴーワヤ兩淺瀨測量班の派遣に關し双方の技術的見解に對立を生ずすなはち哈局側が純交通技術的に複式段別測量法の採用を主張するに對し、ア局側はイ、將來の國境劃定の伏線たらしむるため航路線を境界とする領水を設定しおよびロ、哈局側の測量法をもつて他國領岸上の軍機を偵察するものなるかの如く曖昧しもつて技術上不合理なる航路線別測量法を主張せり以上の如くなるをもつてア局側が純技術上の見解に立ち戻らざる限りこれが成立を期待し得ざるは當然にして、その哈局側提案の測量法が如何に權威あるかの皮肉なる例證としては…本會議停會後すなはち九月哈局作業船により現行を取押へられたるア局作業船の額爾克納河における測量法がさきに哈局側提案と同一測量法たりしことに徵するも明白にして

ソ側の

態度には只唖然たるものあるのみ剰へ右測量のための作業員を滿岸に上陸基標を樹てしめ國境侵犯をあへてし、なほこれに對する哈局側の物的證據（前記基標）及現場寫眞を添附せる十月廿日附抗議に對し康德四年三月十七日附返信をもつて『調査の結果はその事實なし』と恬然たる回答を寄せたるが如き…その他この種不法測量および作業等は隨所に繰返され、その都度哈局側の嚴重なる抗議もものかは依然としてア局側の誠意は見られずして越年せり、斯る狀態裡に康德四年一月に至りア局側は河淺瀨佛山附近の測量及除石作業に關し委員會召集の時間的餘裕なきを理由にして、直ちに作業實施の共同參加を通告し來れるにより三月哈局側は終始一貫共同作業は協定に照し委員會議をもつて決すべく、これがためには會則制定の急務を力說し、即ち會議召集を前提として共同作業に參加すべき旨回答せるところ越えて四月末には逞式公文をもつて

哈局側

に共同作業の誠意の認むべきものなく、又委員にその人を得ずとの誹謗を理由に水路協定の破棄を通告し來れり、惟ふに今次の協定破棄理由が國際的に是認せられざるものなること且非禮なるものたることは前述の事實に徵するも明かにして哈局側としては本協定破棄の結果生起することあるべき各種不幸なる事態および本協定を通じて實されありたる滿ソ兩國間の親善關係破壞の責が一にソ側にあることを聲明するとゝもに滿ソ境界河川及び湖上に我國の主權の發動する限り「航行の自由」は嚴然として永續すべく、又これがために必要なる哈爾濱航政局の事業は假借もなく敢行せらるゝものなることを重ねてこゝに聲明す

治法撤廢聯合會議終了

【東京國通】治外法權撤廢に關する日滿幹事聯合會議第三日は廿一日對滿事務局において開催、議題となつてゐた條約案の細目事項について協議を遂げ、午後四時散會したが、大體意見の一致を見たので會議は同日をもつて終了し、これを參考案として法制局に廻り立案することゝなつた、よつて現地側委員たる成田關東局事務官、菅原滿洲國司法部事課長、相川朝鮮總督府外事課長等は近日中それぞれ歸任、會議の經過を復命することゝなつた

特產中央會理事會開催

特產中央會では二十一日午前十時から日滿軍人會館にて第二十二回理事會を開催、名譽會長丁鑑修氏辭任による後任名譽會長として呂榮寰氏を、又參與補缺選擧の結果滿鐵商工課長永田久治郎氏が選出された、更に附議事項として特產物商品標準化委員會、米國蘇子油產取引改善委員會、特產物消費稅輕減運動の各經過報告あり午後一時過ぎ散會

東京市防護團員今朝南下

滿洲視察のため來京した東京市聯合防護團一行四十名は二十日午後は座談會を開き、二十一日市内見學を終へ二十二日午前八時三十分發列車で公主嶺に赴き、農事試驗場を見學の上同日午後奉天に出發の豫定である

五十子農務司長大連へ

實業部五十子農務司長は大連において開催の農具改良委員會に出席のため廿一日午後九時五十分發列車で南下した

片桐徵募課長

陸軍省徵募課長片桐大佐は滿洲における青年學校の教育情況視察をかね關係箇所と連絡のため二十一日午後四時二十分着列車で來京、二十二日午前六時から新京青年學校を參觀する豫定である

中銀週報

五月九日より十五日に至る中銀貨幣發行額左の如し

貨幣發行額	二三二、一三八、一二六圓〇〇
紙幣	一九一、三四九、〇四五・〇〇
準備	一三〇、九〇三、一四三・〇〇
保證	六〇、四四六、八〇一・〇〇
鑄幣	一〇、八〇九、〇七五・〇〇

人事往來

▲龜山多通雄氏（鐵工業）二十一日來京ヤマトホテル
▲谷口素六氏（建築業）同中央ホテル
▲長澤弘之氏（木材商）同
▲森喜一郎氏（同）同
▲小川三郎氏（商）同都ホテル
▲折川正造氏（土木業）同

航空往來

▲松浦將敏氏（會社員）二十一日滿洲里へ
▲松浦深作氏（中央試驗所）同
▲竹内德治氏（官吏）同ハルビンへ
▲佐々木高信氏（官吏）同
▲山添寅造氏（會社員）同
▲早川亘氏　同奉天へ
▲池田克己氏（官吏）同

偶語

日本朝野を擧げての感激に迎へられて來朝した奇蹟の聖女ヘレン・ケラー女史は近く新京を歷訪される事になつてゐる▼生後十九ヶ月目に盲、聾、唖の三重苦の十字架を負はされた彼女が遂に博士號を得▼ノーベル賞受賞候補者の一人に擬せられるに至る迄の全米の母と呼ばれる彼女の半生は▼唯單に奇蹟とのみ片附けられてはならない苦難の道を克復するまでの忍苦と人類愛▼加ふるに師と兩親との獻身的な指導と同情とを忘れてはならない▼彼女は世の不具者を鞭韃して常に斯ふ云つてゐる『同情と忍耐力と教育、境遇に滿足すること』により救はれるのだ▼決して歎いてはならない、不自由からより高い自由の天地にまで到達することが出來るのだ……と▼寔によき言葉であり味ふべき言葉ではある▼僅かなことに警察へ走つたり心中を企てたりするのは苦しみを知らぬといふより我儘が過ぎる▼そういふ女性は今暫らく待つて聖女に接せば己の行ひが恥しくなりあらう▼九十六時間で東京倫敦を結んだ神風號全世界の歡呼を浴びて歸還飛行につき往路を辿つて二十一日東京に歸着した▼航空日本の氣概これで全し全國民挙つて飯沼、塚越兩鳥人に感謝の意を表せよ

社説

金現送を續つて 物價統制が當面の問題

一

英國が金本位を停止して磅の對外價値を下落する儘に委せるに至つて以來、貨幣の對外價値を低落させ國內の物價を回復せしめるといふ政策が世界各國で取られるやうになつた。しかしこの世界的風潮にまでなつてゐた各國の爲替政策も本年になつてからは、再び轉換の機運を生じつゝあることが知られる。そして此の轉換は決して各國爲替相場の安定や、新型金本位への復歸傾向を意味するものではない反對に爲替相場の引上げを政策として採用すべしといふ思想が擡頭して來たことが注目されるのである。これは爲替相場は安定すべきものである安定せしむべきものであるといふ考へとは對蹠的である一九三一年頃から、爲替相場の安定が絶對に望ましいといふ信條は打破されてゐることを考ふべきであらう。

二

國內物價の下落に基く各種の經濟的失衡から免れるためには、もはや過去に於けるやうな自然的順應作用にのみ依賴して居ることは出來ぬ。貨幣の對外價値の安定を破つても先づ國內物價の回復をはかる必要がある。貨幣の國內價値を安定せしめるためには、その對外價値を犧牲にする外ないといふのが各國が金本位を停止した眞義であつた。然るに今日、卸賣物價指數は昭和三、四年の地位を遙かに超える高さとなつた。物價はなほ世界的に何處まで騰るかわからぬといはれてゐる景氣の回復と軍備の擴張とによつて物資の需要は世界的に著しく增大しつゝある。かかる物價騰貴はもはや經濟上の失衡を回復するものではなくして新たなる失衡を作り出すものであると言はねばならぬ。これから惡性インフレーションが齎らされる危險があるとすれば、それを避けるためには爲替相場變動の犧牲も決して辭すべきではない。』

三

しかし日本の現狀のやうな國際收支狀態に於いて、爲替相場の引上げが果して出來るかどうかである。米國のやうに金の流入に困惑してゐるのとは全く事情が異なつてゐるただ爲替について言ふ場合、金が持つ役割を餘りに過大に評價すべきではないであらう極端に言へば、金など出るだけ出してしまつてもよい、要は日本の經濟的發展に何れが最も有利であるかにあるとすべきである。この經濟的發展といふことが着々と實現して行けば、自ら國際收入の問題も解決される筈だからであるそれには生產力の擴大が完成するまでの數年間が困難だと見られる。從つて此の間の物價統制が當面の重要な政策となるわけである。

無條約時代と我海軍の現狀(四)
想ひ起す三十二年前

自主的軍備の樹立

世界の國際情勢と列國海軍の現狀とは前述の如くであるが故に、帝國海軍としてはこの國際情勢に應じまた列國海軍の動向に鑑みて、夫々萬全の方策を樹てゝこの無條約時代に對處し、以て東亞の安定勢力たるの大使命を完うすると共に、皇國の存立を確保し、その將來の發展を期すべきは當然の責務と謂はねばならない

帝國海軍が本年度において新補充計畫を樹立したる所以も無條約時代に對處すべき最小限度の軍備を整備せんとするに他ならないのである

從つてこの補充計畫は、純然たる自衞的精神に出發したものであつて、勿論他國に向つて建艦競爭を誘發する如き內容のものではなく從來から帝國が主張して居るところの不脅威不侵略の精神を基調としたものである、併し乍ら之と同時に、全く帝國獨自の立場において、帝國の國情に即し且國民性に適したる最も效果的の軍備を整備せんとするものである

抑も、東洋における帝國の立場は、東亞の安定如何によつては、日本の國家並びに民族の存立興亡に關する死生の問題であり、全く絶對的のものである、從つて我が帝國の國防兵力は、東亞の安定を紊す他の如何なる國の企圖をも斥け得る實力あるを必要とする

即ち帝國の海軍力は、西太平洋において、如何なる侵略國の艦隊をも、撃滅することが出來るところの精鋭無比の內容を有つものでなければならぬ

東洋における帝國の地理的狀勢に鑑み、その地理的優勢を全幅的に活用して、東洋方面の海上を掌握し、以て國防の安固を期することは決して不可能ではない、從つて我今次の補充計畫は、必要なる最小限度の兵力量であるが、その實質は飽迄も能率完備のものであることは勿論である

東郷元帥の遺訓

「……憶ふに武人の一生は連綿不斷の戰爭にして時の平戰に由りその責務に輕重あるの理なし、事あれば武力を發揮し事無ければ之を修養し終始一貫その本分を盡さんのみ……苟も武人にして治平に偸安せんか兵備の外觀巍然たるも宛も砂上の樓閣の如く暴風一過たちまち崩倒するに至らん、洵に戒むべきなり 孜々奮勵し實力の滿を持して放つべき時節を待たば庶幾くは以て永遠に護國の大任を全うすることを得ん、神助は唯平素の鍛錬に力め戰はずして既に勝てる者に勝利の榮冠を授くると同時に一勝に滿足して治平に安ずる者より直に之を褫ふ古人曰く勝て兜の緒を締めよ」と

これは明治三十八年十二月二十一日、日露戰役に大捷を得たる我が聯合艦隊が、平和克服に當りその大任を終り解散さるゝに際して、東郷司令官の麾下一般に與へられた訓示の一節である、聖將東郷元帥今や亡けれども、その遺訓は今日なほ生きて、我が海軍將士の胸底に宿り、必勝の信念として、實に國防精神の根本をなして居るのである

今や無條約時代に處して軍備の完璧を期するに當り、日本國民の全智全能を總動員して工業力の精華を集中し、最新科學の極致を應用し、卓越せる技能に加ふるに新機軸、新發明を周ねく採用して、最優秀の艦艇、兵器を整備しなければならない時に際會して居る。これと同時に海軍の人的方面においても、教育及訓練に最善の努力を盡して常に整然たる實力を貯へ、何時にても即時最高の能率を發揮し得るところの不斷の用意が肝要である、この點、我海軍においては特に遺憾なきを期しつゝあるところであるが、今日艦隊及び航空隊等において時に殉職者を出すことある實狀も、一軍に戰鬪即應に對する不斷の準備に拂はるゝ尊き犧牲に他ならぬものであつて以て我が海軍の信念と意氣との一班を窺ふことが出來るであろう

實戰場裡において最高の能率を發揮するためには、技術の練磨とそれにも增して緊要なるのは、崇高なる精神力の極致を以てする一糸紊れない結合と統制と、そして必勝の信念とである

單なる機械や技術力のみを以てする外形の完整は、非常の場合において魂を持たない土偶像と同じく物の役に立つべくもあるまいこの信念は無條約時代に入れる我が海軍の上下を通じ一貫して流るゝところであり、いよいよ鍛錬されて事あれば全能を發揮し、事無ければ深く修養して、日本海々戰の榮光を永遠に辱かしめないであろう

大滿鐵の世帶も高物價に苦勞
收支兩面に細心の注意を拂ふ

滿洲における物價騰貴は內地ほど急上昇せぬが、滿鐵用度部の調査による滿鐵の工事材料備品消耗品等の騰貴指數は本年四月一日現在においては一割七分五厘を示し、今日においてはさらに幾分の昂騰となり、滿鐵では生活必需品の騰貴による下級社員の生活逼迫の程度につき深甚の注意を拂つてゐる、即ち滿鐵幹部としては物價騰貴も今日の狀態では下級社員に對する增給を考慮する模樣もあるまいが日常生活必需品が更に昂騰する場合はそれ相當に社員の增俸增給を研究する必要があらうとして、物價騰貴の動きに細心の注意を拂つてゐるものである又半面會社收入においては今日の物價騰貴で直ちに鐵道運賃を引上げることは絶對的と言つてもよいほど困難であるし、他の港灣その他の收入增加をはかるべき處置も俄に實現を期待し得ない狀態でわづかに撫順炭の單價引上が研究題目として殘されてゐる

撫順炭坑の採炭原價は物價騰貴がなくても露天掘の減少坑內掘りの深部採掘增加によつて漸次昂騰しつゝあるに加へて、最近の物價騰貴により採炭原價は著しく增大されてゐる

滿鐵として差當り收入增加を圖り得るものは炭價引上であるので、目下撫順における採炭原價の値上りの實狀を調査中で、この結果如何によつては具體的に炭價引上が考慮されるものとみられる

しかし炭價の引上は滿炭と同一步調をとるを要し、かつ炭業統制委員會の方針もあるので早急に實現は困難であらうと思はれる

何れにしても、最近の物價騰貴が明暗二樣に滿鐵に反映して研究題目となつてゐることは事實である

一月以降の入超 遂に五億圓突破
鈍角的出超期にも輸出現狀維持

【東京國通】本邦貿易は一月以降入超累計五億九百萬圓と遂に五億圓を突破したが、右に關し爲替銀行筋の觀測を綜合すると、輸入の增勢は當分持續するものと見、多少とも貿易尻の平衡を保たうとする爲には輸出用原料品の前年度實績主義を放棄する外あるまいとみてゐる、即ち本年度貿易の特徴は輸出入共にすばらしい伸力を持つてゐる、たゞ前途の樂觀を許さないのは本週の鈍角的出超期に入る迄輸出は大體現狀を維持する程度であるに對し、輸入はまだふえることで、爲替取極の關係からみても鐵類の輸入は出超期に入つても激增する筋合にあり、その上例年下半期には輸出はさして增加しなくとも棉花その他の重要原料品輸入の季節的激減から出超期に入るが、本年は輸入爲替許可制によつて軍需用資材ならびに軍需用原料を除くその他の原料品乃至原料用製品の輸入は一般に亙つて平均化する結果入超期から出超期への轉換は可成ぼかされて來るのではないかと思ふ

生計費に見る滿洲の物價高
＝中銀調査生計費指數＝

中央銀行では從來調査しつゝある小賣物價を利用しさらに家賃、水道、電氣、バス、理髪等の料金をも調査し主要三都市新京、奉天、哈爾濱における生計費指數の編成を企圖しつゝ新京分については既に計出し終つたので今回左の如く公表した、先づ新京生計費指數の算定の大體は左の如くである

△消費々目およびその消費割合ウエート

消費々目及びその消費割合ウエートは康德二年五、六月ならびに同年十月以降翌三年三月に至る間の統計處家計調査における新京城內居住月收五十圓乃至二百圓の滿人俸給生活者(第一回調査は九十四世帶、第二回調査は百十二世帶を包括)の平均生計費に準據することゝし生活費構成の費目は飲食物費、被服費、住居費光熱費および雜費の五大別とし、これを三十八項目に分け選定した、採擇品目及びそのウエートを表記すれば左の通りである

新京生計費指數 項目別ウエート及び品目一覽表

費目	項目	ウエート
(實支出總額)		一〇〇、〇〇
飲食品費		四三、六三
	糧食品費	一〇、一四
	白米(陸稻水稻)	四、四七
	高粱米	〇、三八
	粟	〇、五〇
	麥粉	三、三〇
	代用粉	三、〇五
	[illegible]	〇、三五
	その他	一、二九
	副食品費	一五、七四
	肉類	五、〇八
	魚介類	一、一〇
	蔬菜類	二、三五
	乾菜類	〇、九五
	卵類	〇、八二
	乳類	〇、三二
	豆腐及漬物類	〇、九二
	調味品	四、二〇
	油類	一、八五
	鹽	〇、二二
	味噌	〇、一八
	醬油、酢	一、〇一
	その他	〇、九四
	嗜好品費	五、〇九
	酒類	〇、四一
	煙草	一、七四
	菓子及果物類	三、二二
	飲料	〇、三六
	出前及外出先の食費	三、一二
住居費		一四、五〇
	家賃	一一、一〇
	家器什器及設備費	三、四五
光熱費		七、九三
	水道費	〇、八五
	燃料費	五、九五
	燈火費	一、三四
被服費		一六、〇二
	衣服費	一二、一四
	身廻品費	四、七九
その他諸費		二〇、二七
	保健衛生費	五、二六
	理容清潔費	二、七三
	錢湯	〇、八七
	洗濯代	〇、四一
	その他	一、四四
	醫療費	二、五四
	育兒費教育	二、五〇
	通信文具費	
	交通、旅行費	四、七三
	負擔費	一、二一
	修養娛樂費	二、八九
	交際費	一〇、七七

▲物價調査

一、調査日 毎月五日、十五日、二十五日の三回、但し家賃調査は年二回

二、調査商店數 特種の品目を除き一種につき五軒以上の商店を指定

三、調査の地域 調査商店の位置は新京城內の各地域に散在

▲計算方法

一、指數の基準 發表すべき指數としては取敢へず康德三年平均を一〇〇とする暫定指數を作成することゝし別に參考のため康德三年一月を一〇〇とする指數を算出

二、指數算出方法 各品目の康德二年中における平均價格を基準として個別的價格指數を求め、同一項目に屬するものを單純算術平均し、各項目別指數を求め(但し項目にさらに細則ウエートを附したるものは加重平均により項目指數を決定す)これを各費目毎に加重算術平均し費目指數を見出ず次にこの費目指數と本來の費目ウエートにより全體の生計費指數を算出する

△最近までの生計費の變動狀態

右の調査により最近生計費の變動狀態をみるに康德三年平均を一〇〇とせる指數においては次表の如く三年一月九八・一六に始まつた總指數は年初一般物價の低迷を反映して安定狀態を示したが、六月頃より次第に確實なる上昇步調に移り、七月には早くも一〇一・〇四と基準を上廻り以後上向の一途に推移し來つた、特に本年頃に濃化し來つた一般商品市場の猛騰狀勢は生計費の急上昇を招來、十二月指數は一〇四・四一にまで昂騰した本年に入るもこの傾向は弱らず依然騰勢持續四月指數は一〇六・七五を示し昂騰の跡顯著なるものがある

第一表 康德三年平均を一〇〇とする新京生計費指數

	月	指數
康德三年	一月	九八・一六
	二月	九六・八七
	三月	九八・三一
	四月	九八・三六
	五月	九八・一一
	六月	九九・〇一
	七月	一〇一・〇四
	八月	一〇一・三一
	九月	一〇二・四六
	十月	一〇二・二二
	十一月	一〇二・二三
	十二月	一〇四・四一
康德四年	一月	一〇四・八一
	二月	一〇六・一六
	三月	一〇六・一〇
	四月	一〇六・七五

さらにこれを康德三年一月を一〇〇とせる指數によつてみれば次表の通りであるが、昨年中において年末は年初に比し實に六、三七%の急騰を示してをり、本年四月において一〇八、七五となり、一年半に達せずしてかくの如き上昇を告げたことは生計費指數としては極めて注目に値する

第二表 康德三年一月を一〇〇とせる新京生計費指數

	月	指數
康德三年	一月	一〇〇・〇〇
	二月	九八・六九
	三月	一〇〇・一五
	四月	一〇〇・二〇
	五月	九九・九五
	六月	一〇〇・八七
	七月	一〇二・九三
	八月	一〇三・一九
	九月	一〇三・三六
	十月	一〇四・一四
	十一月	一〇四・一五
	十二月	一〇六・三七
康德四年	一月	一〇六・七七
	二月	一〇八・一五
	三月	一〇八・〇九
	四月	一〇八・七五

つぎにかゝる生計費の上昇が如何なる費目の昂騰に依存するかをみるために本年四月指數を前年一月および前年十二月と對比しよう

第三表 生計費分類指數(康德三年平均を一〇〇とする)

費目	四月指數	前年一月比	前年十二月比
飲食物費	一一一・〇八	一四・〇七%	三・五九%
被服費	一一六・八九	九・九六%	〇・八三%
住居費	一〇二・〇一	二・四三%	一・七七%
光熱費	一〇〇・四四	二・二九%	〇・三九%
雜費	一〇五・三二	六・四四%	二・二八%
總平均	一〇六・七五	八・七五%	二・二四%

すなはち前年一月比においては五大費目中騰勢最も著しきは飲食物費の一四・〇七%にして被服費の九・九六%これに續き以下住居費の二・四三%、光熱費の二・二九%の順である、さらにこれを前年十二月比に見るも光熱費の微落を除けば飲食物は三・五九%を騰げ、雜費また二・二八%を騰げその他諸費も續騰步調にあるを知る

以上によつて明白なる如く最近の生計費昂騰の主柱を形成せるは飲食物費にして被服費雜費もまたこれを有力に推進してゐるのである、周知の通り總消費額において占むる飲食物費の消費割合は收入の減少に從ひ遞增する傾向を有するものであるから近來の高物價が飲食物において特に顯著なる點よりして下層階級の消費生活への壓迫は充分戒心の要がある

ガーランド氏歸米 メッセージ發表
東京大會の成功を祝福

【橫濱國通】去る四月十五日來朝以來オリンピック東京大會準備の模樣を視察してゐたI・O・C・のウイリアム・メイ・ガーランド氏は夫人および令息夫妻同伴、廿日午后三時出帆の大阪丸で歸米の途についたが、出發に先立ちわがスポーツ界に左の如きメッセージを殘し以て東京大會の成功を祝福した

一九四〇年に東京において開催される第十二回オリンピック大會は現在の日本の總ての競技界の實際に鑑みて大會の成功は疑ふべくもないことを確信する、殊に次のことは個人として申述べるのであるが、滿洲國のスポーツの發達が現在の如く素晴らしき熱意をもつて進まば恐らく東京大會參加の實力は充分培ひ得ると考へられる

日本は常に躍進を目指して邁進してをり、凡有る文化進展はたゆむことなく續けられてをり、また日本のスポーツ界がオリンピックのために全力を擧げて精進してゐる事實は東京大會に際してその大成功を齎らすことを約束するものであると看取する、私は日本の方々に充分な親みを持つし、歸國に際して心からの祈を三年後の大會の成功のために捧げる、終りに臨み私に寄せられた凡有る好意に厚く感謝の意を表する次第である

日東紡が名古屋紡合併

【東京國通】日東紡では今回左記要項のもとに名古屋紡績を合併することに決定した

一、日東紡八に對し名古屋紡十の比率をもつて五十圓拂込濟の株を交附する

一、合併後の資本金は二千九百六十萬圓中拂込濟千百三十五萬圓

一、合併期日は十二年九月一日

日清紡女工代表見學來滿

【東京國通】日清紡では女工達に滿洲移民の認識を深めさせるために移民慰問を兼ねて實地見學をさせることになり全國各地の工場一萬人の女工代表として龜戸工場の鈴木ヨシノさん(二七)ほか各工場から十名の女工を選拔、一行は社員末延、淸水兩氏に引率されて來る廿二日午前十時卅分東京驛發列車で渡滿することになつた、なほ一行は三週間の豫定のもとに國防婦人會の白エプロン姿で各地を見學するが、會社ではゆくゆくは移民との結婚に女工が進んで乘出す樣に第二、第三の見學團を送る計畫である

小林一三氏等の視察日程

東京電燈社長小林一三氏、取締役調査部長岡部榮一氏らの滿洲及び北支視察日程は大體左の如くである

▲二十一日大連視察泊▲二十二日旅大視察湯崗子溫泉着泊▲二十三日鞍山着昭和製鋼所視察奉天着泊▲二十四日撫順視察新京着泊▲二十五日滯在各機關訪問▲二十六日哈爾濱着泊▲二十七日飛行機にて大連着更に飛行機にて天津着泊▲二十八日天津塘沽視察天津泊▲二十九日北平視察泊▲三十日北平及門頭溝視察泊▲三十一日北平及通縣視察天津泊▲六月一日天津發途中開平岩山秦皇島、山海關を視察▲二日奉天着朝鮮經由にて四日大阪歸着

商況欄 (五月二十一日)後場

●上海標金 前引 [illegible]
●上海爲替 日本向 [illegible]
第一回 賣買 倫敦向 一〇四、一〇〇五、 八七五 一二五

株式相場

第一回 賣買 一志二片 一六分八 一六分五
經濟向 二九弗 一八分二 一八分七

▲大連株式(短期)

銘柄	寄	引
五品	一六、七〇	—
豆新	一二、七〇	—
東新	一三三、六〇	—
滿鐵新	六二、一〇	—
同新	五〇、一〇	—
日產新	八二、五〇	—
鐘新	一六九、〇〇	—

▲奉天株式(短期)

銘柄	寄	引
滿取	一三、六〇	一三、六〇
東新	一四四、〇〇	一三三、六〇
日產新	八〇、八〇	八〇、五〇
鐘新	一二七、〇〇	—
五品新	一七、〇〇	—
豆新	一二、六〇	—
滿鐵新	八八、四〇	—
同新	四七、〇〇	—
電業	—	—
滿毛	二七、〇〇	—
日魯	七二、〇〇	—

各地特產市況

▲新京 現物(一石值段)

	寄	引	出來高
大豆	—	—	—
高粱	—	—	—
●先物			
五月限	六、五四	六、四六	一三〇車
六月限	六、五七	六、四五	二車
高粱	—	—	—
五月限	三、三五	三、三五	三車
六月限	三、四三	—	三車
七月限	—	—	—

手形交換高 (二十一日)

國幣 三五〇、四九四、二六九、八六

鮮魚小賣相場 (二十一日)

百匁に付

品名	最高	最低
活鯛	七〇	三六
氷鯛	七二	四八
中小鯛	…	…
チヌ鯛	三〇	二二
チコ鯛	三六	三四
アマ鯛	六〇	五四
エビ	…	…
巾エビ	…	…
ブリ	三三	二九
ヒラス	四〇	…
マス	二七	二〇
サワラ	二四	一七
ニベ	一五	九
鯖	…	…
赤ムツ	…	…
メバル	…	…
アブラメ	…	…
鰮	…	…
水蛸	…	…
飯蛸	一五	一二
紋甲イカ	…	…
小イカ	…	…
ヒイメ	二九	一一
カレイ	二九	…
鮃	一五	九
目高カレイ	一五	…
カナガシラ	一〇	六
コノシロ	二五	八
オコゼ	三〇	…
キス	四〇	三〇
アナゴ	一八	一二
白魚	…	…
鮑	一〇	六六
カキ	…	…
帆立貝	一八	一八
赤貝	一八	一二
蜆	一一	一〇
ハマグリ	…	…
鮐	二一	…
カキ	一六	一五
オバン	二二	…
カマボコ	一四	一二
(切り身相場)		
鰻	…	…
ブリ	…	…
ヒラメ	…	…
ニベ	…	…
ヒラメ	…	…

けふの天氣 西の風晴一時曇
日の出 前五時七分
日の入 後八時四分
月の出 後五時二一分
月の入 前三時五分
きのふの氣溫 最高 二〇度八 最低 六度八

纖維の新分野求めて 滿鐵、研究に邁進
中央試驗所に新研究室設置

近代纖維工業の原料は針葉樹から濶葉樹および纖維植物に移行しつゝあるが、特に滿洲では纖維の豐富な大豆幹、高粱莖、玉蜀黍、棉幹、梱等の植物が從來僅かに燃料に利用されるに止まり、未だ工業化されるに至つてゐない實狀に鑑み滿鐵では今回中央試驗所有機化學課に纖維研究室を設置し、丸澤博士指導のもとに各纖維植物にわたり纖維の抽出およびこれが工業化の試驗研究に邁進することゝなつた 試驗所では既に大豆幹のパルプ抽出に成功してゐるのでさらにこの廣範圍にわたる試驗研究に成功した曉は滿洲纖維工業界に洋々たる將來を齎すものとして期待されてゐる

農產化學研究の 構機をも充實
―注目される諸種の事業

滿鐵中央試驗所では農產化學研究の充實を期するため有機化學に油脂研究室、大豆研究室、纖維研究室、一般有機化學研究室、有機試驗室の四研究室、一試驗室を設けることに決定、この旨廿日發表したが、油脂研究室は油脂およびその加工に關する試驗研究を行ひ、有機試驗室は織物類ならびにその加工品および脂肪類鑛油、塗料工業藥品類の試驗檢定ならびに鑑定を行ふもので滿洲產物の利用範圍の擴張を目的とするものである

標柱建て、縣境を明瞭に

錦州省公署では管内十二縣の縣境中境界の不分明なもの多く行政上或は治安上の不便多く、特に縣境に境界標識のあるもの殆んどなき狀態に鑑み昨年八月康德四年度豫算に縣境標識柱費の計上を指示し、これが實施を促したが未だ實施を見ざる縣多きため今回更に本年度豫算に計上なき縣は追加豫算としても是非その實行を期することとなつた

興安東省聯 二十二日から

協和會興安省本部では同本部開設以來の第一回省聯合協議會を廿二日より三日間札蘭屯の省公署で開催、中央本部より片倉委員が出席する

齊齊哈爾の運動打合せ

【齊々哈爾國通】來る六月十三日に行はれる建國記念大運動會に際し齊々哈爾市公署では民族協和の意味から從來の滿洲國學生以外に日本側生徒および一般市民も參加させることになり右に關する打合せを十七日午後二時より日本小學校で開催關係者出席の上種々意見の交換を遂げた

協和會濱江省聯 多大の效果收め終了

協和會濱江省聯合會は去る十七日より四日間に亘り第四軍管區司令部體育館において開催、于中央本部長、阮文教部、韓財政部兩大臣出席、在哈各機關會代表八十三名、各縣分會代表列席、各縣分會提出議案百五件を審議終了し、全國聯合協議會への提出議案廿一件を可決し、多大の效果を收めて廿日午後五時閉會した、なほ結城省本部長は廿日午後六時より出席各委員五十餘名を宴賓樓に招待慰勞宴を張つた

奉山線興城溫泉に 海岸諸施設成る
七月三日華々しく披露の豫定

【錦州國通】鐵道總局が百萬圓を投じて大連の星ヶ浦にも匹適する大遊園地を現出せしめんと意氣込んでゐる奉山線興城溫泉の海岸施設は既に豫定所要地域の買收を終り目下架橋道路、海水浴場、海濱ホテル、バンガロー等の建設を急ぎつゝあるが、今夏六月中には第一期建設を完了の豫定となつてゐるので錦縣鐵路局では來る七月三日(土曜日)華々しく海岸開きを行ふことに大體決定した、當日は特に錦州および山海關兩地より臨時列車を運轉して興城行き乘客の便宜を圖る外夜は花火大會、盆踊り等の催物まで添へて夏の夜の行樂に出來る限りのサービス振りを發揮する由である

國道・省道・縣道等 六十五線を擴充
錦州省は「道」普請に大童

【錦州國通】錦州省公署は省内の道路網擴充計畫を樹て近く實施に着手する筈であるが目下計畫されつゝある道路は左の如くである

一、國道に準ずべきもの 一四線 八一四・四粁
一、省道 二一線 一、二五三粁
一、縣道 三〇線 一、三八四粁
合計 六五線 三、四五一、四粁

農學權威者迎へ 座談會開催

【大連國通】滿鐵產業部では新京に於る農業政策審議委員會に出席した日本側委員橋本博士、石黑博士、那須博士及び天津軍顧問吉田新七郎氏、關東軍顧問小平權一氏等の來連を機とし、十八日午前十時より大連ヤマトホテルにおいて產業部奥村、世良兩次長以下各課長出席の上、北支における農業政策並びに北支と滿洲國間の農業政策の關聯性につき座談會を開催した、なほ橋本博士は十九日惠通旅客機で天津へ、石黑、那須兩博士

吉鐵第一回の 保線競技會

【吉林國通】吉鐵では來る廿二日午前九時半より吉林驛構内で第一回保線競技會を開催するが、競技種目は團體競技(枕木割込)(分岐布設)の二種目で、團體競技は日人一名、滿人十二名、個人競技は滿人二名をもつて一組とする

滿鮮露人雇員 登格試驗

【吉林國通】吉鐵管内第二回滿鮮露人雇員登格試驗は來る五月三十日午前九時より各地一齊に施行するが、試驗施行地および受驗人員數は左の如くである

吉林 四一九名
朝陽鎭 六一名
西安 五八名
前郭旗 一六名
新站 五五名

なほ試驗種別は庶務、經理關係、驛營業關係、機務運轉關係、同技術關係の四種である

軍需品輸送隊 共產匪と激戰

第一軍管區司令部入電によれば、十九日午前四時半撫松を出發せる步兵第三軍々需品輸送隊〇〇名は、同九時頃撫松南方卅キロの地點で共產匪數十名と遭遇激戰三十分にして敵に大打擊を與へて潰走せしめたが、右戰鬪において滿軍將校三樹仁、王品題の兩氏は名譽の戰死をとげ、ほか兵一名も戰死した

匪首王太姑娘 射殺さる

既報鳳城縣自衞團の討伐に際し重傷せる匪首王太姑娘は部下一名と共に鳳城東北十四キロ國家堡子に潛伏中五月十五日鳳凰城日本警察署員に射殺された

憲兵練訓所 廿五日卒業式

憲兵訓練處滿系第一期乙種學生及第八期並に蒙系學兵の卒業式は二十五日午前八時より同處に於て擧行される

東京商工獎勵館 新京出張所移轉

中央通り輸入組合にあつた府立東京商工獎勵館新京出張所は今般朝日通り三五大平ビル一階に移轉した

種痘技術者 講習 廿四日から

首都警察廳が種痘法の萬全な運用と天然痘の防遏を期するため長春縣下の洋、漢醫三十三名を選拔して正して種痘技術を收得せしめる種痘技術者講習會はいよ〳〵來る二十四日から二十六日まで同總會議室にて開催されるに決定した講習時間は毎日午前九時から午後四時まで、科目は講習開催趣旨の訓話、傳染病の概要衞生一般、防疫一般、管内に於ける天然痘及び種痘の狀況將來に於ける種痘施行、天然痘の原因、症狀、患者の處置及び消毒法、種痘の效果、種痘器具の名稱これが取扱上の注意、痘苗の製法とこれが取扱上の注意等で最終日には實地指導として市内種痘場について實習をなさしめ續いて市

林業座談會

新京材木商組合並びに東滿林業協會では今般內地視察を終へて歸京した實業部林務司青山經營科長を中心に內地の林業狀勢を語る座談會を二十一日午後二時から記念公會堂にて開催することゝなつた、なほ既報材木商組合總會開催とあつたのは誤りにつき訂正

北安驛員 近く起訴

去る十三日夜北安鐵々員廿數名(內日本人一名)が醉狂の揚句同地滿人劇場において亂暴を働き、これを制止せんとした滿洲人警官三名を袋叩きにし暴行傷害を加へた事件あり、主謀者は同地警察署に留置、目下取調べられてゐるが、近く一件書類と共に齊々哈爾檢察廳に送局、職務執行妨害並に傷害罪として起訴される模樣である

圖們商議副會頭

圖們日本商工會議所の副會頭岩井田富士松氏(消防組頭)の副會頭辭任により補充互選の結果左の如く當選した

副會頭 丸山佐四郎
常議員 宮本重房

德島縣人會

新京德島縣人會事務所及現役員は左の如くである

事務所 新京室町二丁目沖津醫院內
顧問 福島眞美 上田昌雄 湯淺長四郎
會長 沖津亘
副會長 加藤輝一
幹事 井出美明、畑園太西、眞田昌、和同滿次、和田儀助、加納茂、小西幸美、安坂岩雄、佐竹善太郎、湯淺兵二、美馬善太郎、清水貞二

因に同縣人會は昭和九年九月結成以來全會員の愛會の念旺盛にして會員相互の親睦を圖り尚德島縣人の指導誘發に協力し一面同縣視察團等に對しては其視察の目的達成に盡力し其活動も目覺しく本月上旬來京せる德島縣立商業、德島女子師範の視察隊に對し宮內府、國務院、文教部訪問に當り種々斡旋し視察員一同に多大の感動を與へた

讀者の領分

投稿歡迎 中傷不可

◇街の清掃について一言苦言を呈したい。各人の家で自宅の前を清掃せよといふことが叫ばれたが、どれだけ徹底してゐるのか?

◇それとは別に、附屬地では朝から箒で街を掃いてゐるのだが、舗裝の出來てゐない街を掃く場合にも彼等は一向お構ひなしである。風が吹いてゐても又然りこれは清掃ではなく、砂塵土埃の製造であらう。

◇宜しく街路を掃かせるなら、午前七時以前の早朝に完了せしむべし。未舗裝道路には水を撒いて掃くやうにすべし。(永樂町生)

日本人の眼に映じた滿洲 (其の六)

寒村生

何人ぞ陳腐なりと笑ふや。山よりも高く海よりも深き無條件の慈愛もて、身を枯らし夢寐の間も我を念じ、我なき里に、ただ杖のみを頼りの跚ひ老ひ給ふ御父、御母樣、覺めてこそ六尺の五體、唯一條に大和魂の一塊に化し、明日とも言はで今たゞ今、大君樣と御國の爲に、命を覺悟の鴻毛の身も明日まで延ばされし今宵の夢路に通ふは、枕に我を偲び幾夜涙に咽ぶらん可憐の彼女、讒言に父呼ぶ幼なき愛兒、骨を碎けよ手も折れよ魂の空蟬になる程抱きしめて、此の鐵腕がかなはぬ程に痺れしはうつつなりしか。

■ 親を忘れ子を忘れし筈なるに意氣地なしとな笑ひそ、慈悲の親樣に不肖の子はない。夢にも妻子を忘れでこそ、勇ましかりし夫、お豪かりしお父樣と偲ばれん誇は、金鵄勳章何かあらむ、勇ましくも尊き武人。

■ 在滿日本人の總ては勇士達に劣らざる祖國愛に滿ち、生命線の一線に立ちてをのがじし業はひにいそしんでゐるのだ決してお國に拗ねお國を忘れてゐるのではない、飽き果てたる日本の政情にこそ、目をつむりても、今日一日の建設に心身共に疲勞を憩ひの一瞬にも、思ひは祖國大日本帝國に馳せるのだ、今 天皇陛下の御宸襟如何あらせらるゝや、陛下樣赤子の幾多同胞の業はひの安穩なりや。

■ 我等日本國民の勇氣を殺ぎ、活躍のエネルギーを殺ぐものは「食たらず」でもない「境遇の不平」でもない「道狹し」と橫行する日滿のエセ紳士や娼婦跋足のモダンガールの蛆虫共の「亡國的樣子」でもない。吾等こそ日滿不可分の模範を以て任じ〇〇〇〇〇の〇〇を之見よがしに揭げるモダンボーイの「非常識」さでもない。

■ 何時迄經つても餘りにも悟らざる、餘りにも幼稚な餘りにも賤業に價ひする日本の政情だ。政治屋政黨屋共は國民の夢寐にも忘れ得ざる、悲しくも思ひ起こす去んぬる五、一五以來の若き熱血の幾多軍人や青年が身を以て祖國に呼びかけ、而して斃れたる幾多悲壯の事件は既に忘れたのか。

■ 巧言辭麗以て身の安きを計る當世怜悧の所謂秀才青年の中に「かくすればかくなる事と知りながら」正義の爲に「やむにやまれず」進んで火中に飛び込む幾多日本男兒が峻極の悲慘な身の終りを恐れて日本から後を斷つとでも思ふのか

■ 「君が代は千代に八千代にさゞれ石の巖となりて苔のむすらむ」幾千載の後までも君が代をお護り申さん爲にこそ、七生報國の護國青年が先祖傳來九寸五分の善刄は深く藏してゐる。君國危きの場合電光一閃之によつて此の青年によつて國家は救はれ大日本帝國は磐石である、嗟呼洋々たる哉大日本帝國、嗚呼勇ましくも頼もしい哉、日夜已が業はひにいそしむ從順にも逆上せざる鐵血青年。

△よう死んで呉れたと咽せぶ時鳥
△斃れても萬歲とともに兒を抱き
△のさばりぬ遥良なりと大僞師が
△王道に豚はびこつて街狹し

(つゞく)

吉林省の警察行政 治安狀況視察記 (三)

新京 宮崎司

磐石縣下の治安をのぞく

吉林省警察行政機構ならびに治安狀況を視察した記者は、ついで磐石縣公署を訪問した

森參事官の縣内狀況說明によれば、今年二月の縣人口は十五萬、これを保護する警務機構は警務局のもとに警察署六分駐所五、派出所廿、請願派出所二である、警備用電話網一千七百キロ、警備道路一千キロ、縣指定集團部落二四、自立集團部落四七〇あり、縣内治安確保の各據點としてまた農民更生の中心としてそれぞれ目覺しい發展を示してゐる、建國當初に於る治安狀態は全く混亂の極に達し康德元年には舊吉林軍の叛亂あり、一時は磐石縣城も匪團の手に陷る等全縣を通じて最も治安の不良地域と化し元年の如きは毎日匪情廿五件乃至卅件を數へ、殆ど通日戰鬪が交はされる有樣であつたが、其後日滿軍警協力の討匪並びに宣撫工作によつて二年は匪情報五四二二件、一日平均十四件、三年は激減して一、一一二件一日平均三件、本年は四月末までに僅かに三二件、しかも多くは奉吉省境附近において廿內外の小匪出沒を報ずるのみで、匪害を蒙ることは殆どない平穩狀態となつた又建國前より頑强な地盤を有してゐた中國共產黨磐石縣委員の指令下に潛行しつゝあつた黨團も昨年十一月以來三次に亘る檢擧で全く跡を絕ち、目下治安は頗る良好で、縣公署としては治安の混亂時に他地方へ避難し去つた農民の復歸工作に努め、二荒地復興のため農耕資金貸付その他農民の更生援助に全力を注いでゐる

磐石縣下 集團部落の特色

磐石縣下各集團部落は「保」と共に實質的には最下級自治行政單位となつてゐる、即ち集團部落が警備上の要點にあり農耕地域の中心でもあつて縣公署―各警察署よりの警備通信網、警備道路網は總て集團部落を目標に建設されたことは勢ひ最下級自治行政機構が無形的に集團部落を單位として存在する譯で、保甲制度は集團部落を單位とした有形的即ち法制化された自治行政の代行機關となつてゐる

磐石縣下の部落は全部集團部落で康德二年以來實施中である磐石縣五ヶ年計畫に基き新たに形成されたものであるが丁度新興都市が都市計畫によつて建設されると同樣に部落構成の理想を實現したものであつて、將來本質的最下級自治行政の闘たる街村制が確立される場合も容易に實施され得る部落構成である、斯樣に全縣が齊しく集團部落となつた原因は何かといへば、それは破壞の後における建設だからである、遡つて磐石縣の開拓史を述べて見よう

磐石縣は古代高句麗の領土であつて清朝初期時代も清國民の移住は許可されてゐなかつたが、隣接各縣にわける漢民族の移住門壁が飽和の域に達するや農民は官憲の目を盜んで磐石縣の未解放地に移住しはじめた

斯くて時勢の流れは官憲の力の及ぶところでなく清朝末期即ち光緒三年に至り清朝は遂に磐石縣の開放令を發布し、吉林墾務局の支部下に置いて開放事務を司ると共に七個頂子山麓に巡檢を設けたのであるが、移住民は殆どその統御を無視し隨所に居住して開墾をはじめた、これは巡檢或は吉林墾務局によき指導者がゐなかつたことが主なる原因であるが、右のやうにして各方面よりの移住者が勝手に散在して團結を顧みなかつたのみか集團せる部落を構成する時は却つて官憲の壓迫搾取に遭ふといふ通念から好んで山間谷地に散在的に居を構へた結果は磐石縣の開拓が極めて亂雜無統制の裡に進められ、その餘勢は集團部落をみずして滿洲建國に及んでゐる

建國前官憲の壓迫搾取から逃れ得た磐石縣下住民が官憲に代つて土匪にその居を脅かされ遂には土匪の根據下に呻吟せねばならなくなつた事もその移住過程からみれば容易に首肯されるところである

右の如く極めて變態的開拓史を綴つた磐石縣が滿洲事變勃發―滿洲建國に際會するや舊政權軍隊中匪化したものゝ割據地となつたことは寧ろ當然のことで、團結力なき農民が一朝にして開墾地を追はれる結果となつたのである、斯くして事變前二十萬を算した移住民も大同元年の間に僅か八萬に激減し、農耕地は開墾前にも等しく荒廢し去つたが、日滿軍の討伐によつて匪團の大部分が掃滅されるに至り當局では速かに荒廢地(二荒地と稱する)の復活を圖つて磐石縣復興五ヶ年計畫を樹立し康德二年よりこれが實施を開始して今やその第三年目に當り住民も續々歸農し當局の指導に基いて集團部落を建設し二荒地の再墾に從事して彼等が再び亂雜な散在家屋に居住せず喜んで當局の指導する集團部落を結成するに至つた事は將來の發展を考へると禍かへつて福となつたわけである

不時の怪我に備へて・・・“家庭常備藥”を・・・

刺創、毒創、火傷等の手當法

刺創

針を足にたてたり、錐をたてたりした刺創の場合は、とかく深い所に黴菌が入るおそれがある。殊に外で汚ない釘を足の裏などに突き立てた場合などは、破傷風のバイ菌が入ることがあるから餘程注意が肝要で、かういふ場合はオキシフルを脫脂綿にしまして拭き、更にマークロクロムを塗るとよい。少し深い刺創の場合にはともかく外科醫の診察を受けることである。

毒創

毒蛇に嚙まれたり、蜂その他にさゝれたりするのを毒創といふが、毒蛇に嚙まれた場合は、毒が體にまはらないやうに、速かに中樞に近い方を、出血の時と同樣にひも等で出來るだけ強くしばる。そして嚙まれた處に口をあてて毒を吸ひ出す。勿論吸ふ人の口の中に、傷があつてはいけないが傷がなければ口で吸ひ出すのが一番である。斯くして大急ぎで醫者の所に運ぶ。

中樞に近い所を縛るといつても、二時間以上縛つておくとその先が腐るから少くとも二時間以內には醫者に診せなければならない。蜂、虻等にさゝれた場合はアンモニヤをぬるとよい。もし腫れて痛ければその上に濕布する。小兒等が蚊にさゝれて赤くなつて痒ゆがる。所謂蚊に負けた時は、石炭酸亞鉛華糊膏カルボール、チンクリニメントをぬれば痒みはすぐとまる。鼠、犬、猫等に嚙まれた場合は傷が小さくとも、馬鹿にしないで必ず醫者に相談することが肝要である。

火傷

赤くなつた丈けで、水ぶくれのしないもの、即ち一番輕症のものは種子油でも肝油でも何でも油をぬつておけばよい。しかし赤くなつたばかりの火傷でも場所が廣いと生命にかゝはるから早く醫者に診せることである。水ぶくれが出來た場合は、針を火で燒いて消毒し、水ぶくれの橫から刺して中の水を出してから油をぬればよい。又水ぶくれが破れて赤むけした場合は、亞鉛華オレーブ油又は肝油をぬるのが一番よい。肝油をガーゼにしませて赤むけの所へ塗る事は大變よろしい。火傷がもつと重症になると局部がただれた樣になるが何れにせよ少し重い場合、又は場所が廣い場合は直ぐ醫者に診せる事である。

常備藥

大體以上が火傷の手當法であるから、家庭としては、アルコール、ヨードチンキ、オキシフル、マークロクロム、アンモニヤ、肝油、カルボールチンクリニメント、亞鉛華オレーブ油、脫脂綿、ガーゼ、繃帶等を常備しておけば急救に役立つといふわけである。以上の藥品は何處の藥店にもあるから直ぐ買へる。

連載漫畫　オデコノ頓チヤン

(1) コレオナゲルト、トツテクルヨ

(2) ネエリコウダラウ

(3)

(4) コラチビハンブンヨコセ

隣りのラヂオに惱まされるとき斯うして防げ

聲の波長と防音

男が普通にしやべる聲の波長は八—一〇フイート、女は四—五フイート程あります。ところで、其波長の五〇倍以上の直徑のものが前にあれば、そのうしろには音の蔭が出來て聲の大きい小さいには關係なく完全にそこで音をさへぎつてしまひます。なほ波長はその音の調子が高ければ高い程短くなりますから、高い音はそれだけ形の小さなものでもさへぎれますし、又高い音と低い音がまじつてゐる場合、小さな形のものをもつてゆけば高いキーキーする方の音だけはさへぎることも出來ます。

聲を遮る實例

かういふ記錄があります。或る海岸で每年春になるとそこにはカモメが卵を生みに澤山飛んで來ますが、やがて生れた卵が雛にかへると當分は隨分離れた處までキーキーキーと實にうるさい限りですところが、其巢から少し離れた處に道があり道の一方に石炭の燃え殼が積んでありますその前を通ると少しもそのキーキーが聞えません。よく調べて見たところが、その石炭殼の高さは、鳥の聲の波長の數倍に當り、それでさへぎられてゐたとやうやくわかつたと云ひます。

ラヂオの聲防止

皆樣にもこんな經驗はおありになりませんか、夏蟬の聲、虫の音など聞くのに、ちよつと手にしてゐたウチハを耳のそばへ持つて行くと、その角度の加減で大變よく聞えたり聞えなくなつたりするといふことを。

これから夏に向つて、もしお隣りのラヂオや蓄音器が開け放した窓からうるさくて困られたらやはりこの理を應用なさると面白いと思ひます。御自分の耳のそばへ、音のする方向に向つて衝立のやうなものを立てるか、簡單には机にでも向つて居られたら、大きめな本を開いて立てゝおかれてもよいと思ひます。形は出來るだけ大きなものを、質は堅くてなめらかなものがよろしいが、洋書などでよいと思ひます。方向や位置はそのときどきにより御自分でおきめ下さい。

やがて梅雨季です！食品にはこの御注意を

梅雨の濕氣が食品によくないことは御承知の通りですが、その中でも特に濕氣を吸ひやすいもの、そのため成分の變化しやすいものなど、そしてその豫防法を申し上げたいと思ひます。

淺草海苔　ノリは特に吸濕性の强いもので、一度しけると海苔特有の風味は失はれ、再び使へなくなります。つまり揮發性の成分は逃げ脂肪は分解し、ビタミンAの全部とBの幾分は破壞されてしまふのです。

メリケン粉パン粉　製造中或は保存中に虫の卵が生みつけられてゐたものが濕氣を與へられて幼虫にかへつて糸を出し、巢をつくります。また脂肪は酸化して赤ちやけた色になり、いやな臭ひを伴ひます。

鹽・砂糖　これらは成分や臭ひがどうかうといふよりはべと／＼に溶けて氣持が惡いものです。

ビスケット、せんべい、かき餅　しつとりとしたおせんべいは子供達でもいやがります。それにしけると非常にうつり香のしやすいもので一層不味くなります。

防濕法　さてかうした濕氣を防ぐ方法ですが、密閉した處に入れておくことはまづ常識として、アドソール（工業藥品店に有り）をお使ひになるとよいと思ひます。一種の土をかためたものですが、これを一つかみくらゐ罐なり壜なりへ入れて上に紙でも敷き、その上に以上のしけやすいものをのせておくとアドソール自身が吸ひとつて決して他のものを濕らせません。お茶からを利用すれば一番簡單です。

季節の料理

莢豌豆の大根卸し和へ

季節のお惣菜として、サヤ豌豆の大根卸し和へなど、手輕に作れて然も結構な食べ物です。材料は五人前として

サヤ豌豆五十匁▲鹽と重曹少々、小大根一本、酢大匙二杯、食鹽茶匙摺切一杯、砂糖大匙一杯、味の素茶匙半分、生姜少々

材料を揃へたら

サヤ豌豆の筋を取つて胃ゆでに致します。その茹方は五、六合の熟湯に、鹽茶匙一杯入れてサヤ豌豆を入れ、二、三分間して重曹茶匙四分の一位をお箸の先きにつけて入れ、一分間程して笊にあげ、冷水に入れてよく冷しますと、鹽の爲に色よく、重曹の爲に軟かに茹だります。それから生姜の皮をむき、長さ一寸位に極く細く

針の樣に切つて

水に晒し二、三回水を取り替へておきます。これを針生姜と申します。今度は甘酢を造ります。

これはお酢大匙二杯に食鹽茶匙摺切一杯、砂糖大匙一杯、味の素少々を入れたもの

次に大根を卸し、輕く搾つて甘酢を入れてかきまぜ、その中へ前のサヤ豌豆の水を切つて入れ、小鉢に小高く盛り、針生姜を十本位ばらばらと上にのせて出します。

家庭常識　手輕なガラスの磨き方

窓や障子の硝子をいつも綺麗にして置くことは、却々面倒で骨の折れるものですが、古新聞紙を丸め、水にぬらして雜巾の代りに拭き、後乾いた小布で仕上げをすると、石鹸よりも何よりも手輕でしかも美しくなります。

ラヂオ　けふの番組

（M・T・C・Y）（新京放送局）廿二日（土曜日）

（朝）

六、三〇 ラヂオ體操・入港船のお知らせ（大連）
六、五〇 中等滿洲語講座（大連） 講師秩父固太郎
七、一五 朝の音樂
七、四五 建國體操
八、〇〇 氣象通報（大連）
九、三〇 經濟市況（東京）
一〇、〇〇 家庭講座（奉天） 滿洲の藥草に就て（二） 山下泰藏
一〇、二〇 料理獻立（大連）
一〇、三〇 家庭メモ
一〇、四〇 經濟市況（大連・新京）
一一、三五 經濟市況（大連）

（晝）

一一、四〇 經濟市況（東京）
一一、五九 時報
〇、〇五 晝の演藝（東京）（レコード）
〇、四〇 ニュース（東京・新京）
一、〇〇 經濟市況（大連・新京）
一、一〇 野球試合實況（東京）—明治神宮外苑野球場より中繼— 東京大學野球聯盟リーグ戰 明治對法政 帝大對立教 □雨天順延 野球休止の場合は左を追加す
後五、二〇 演藝（鮮語）

左の時刻には中斷す
三、〇〇 經濟市況（大連・新京）
三、四〇 經濟市況（東京）
四、〇〇 ニュース（東京・新京）
四、三〇 經濟市況（大連・新京）
五、二〇 ニュース（鮮語）

（夜）

六、〇〇 子供の時間（東京） うたのおけいこ 子供のテキスト
五月號特選童謠 柴田秀子
一、この道ほそ道 山上武夫作詞 草川信作曲
二、麥笛吹いて 毛野草人作詞 成田爲三作曲
六、二〇 コドモの新聞
六、二五 講演（東京） 坪內逍遙と明治文化 長谷川如是閑
七、〇〇 ニュース（東京） ニュース・告知事項・番組豫告（新京）
七、三〇 子供と家庭の夕（大阪）
（一）吹奏樂 行進曲「海の戰士」外 海軍々樂隊作曲 吳海兵團軍樂隊 指揮樂長山田榮
（二）二月のノート 胡蝶座
（三）童謠組曲少年の日 竹內俊子作詞 永井巴作曲 早苗會兒童
伴奏 大阪ラヂオオーケストラ 指揮 永井巴
（四）レヴュー 輝く神風 山口國敏作詞 西口猛作曲並編曲 大阪松竹少女歌劇
九、〇〇 俚謠と歌謠曲（長野）—松本市松本座より中繼—
（一）俚謠安曇節 唄 やす 三味線 小せん 外
（二）歌謠曲 立山節 唄 市丸 信濃シヤンソン 三味線 才香 外 唄 灰田勝彦 伴奏 日本ビクター管絃樂團
九、三〇 時報ニュース（東京） ニュース・告知事項・氣象通報・番組豫告（新京）
一〇、〇〇 聲の佛法僧（名古屋）—三河國鳳來寺山山腹より中繼—
備考 一、雨天の場合は翌日同刻に延期 一、雨天の場合はレコードを放送
一〇、三〇 北滿の時間（哈爾濱）

三河の鳳來寺から佛法僧を聽く

＝靈鳥今年もマイクに登場＝

【後一〇・〇〇】

一昨年の六月並びに昨年の五月、前後四夜にわたつて三河國鳳來寺山より中繼した佛法僧實況が動物生態放送に劃期的な成果を納めて學界並びに一般を刺戟示唆した事はあまりにも顯著である。文部省においてもこれが反響にかんがみ新訂小學國語讀本に一課を加へ、今年はさらにその興味が全國學童輩にも及ばんとしてゐる。教材として爼上にされた靈鳥を今一度マイクに登場せしむることは、過去における放送と異つた意義をもつであらう。

講演　坪內逍遙と明治文化　長谷川如是閑氏

【後六・二五】

坪內先生は明治より昭和におよぶ文學史を自分で生活されたやうな方で、その業績は日本文學とイギリス文學に及び、劇、小說、舞踊にわたり、さうかと想ふと倫理、教育等夥しい方面に殘されてゐる。今日こゝでは、先生が明治以來の文學の先輩並に後輩と特に違つた型を持つてゐられる點即ちその仕事の總てが常に國民大衆の敎化といふことから離れず、その意味から理解されねばならず、しかもその方法、精神が普通に敎化といはれてゐるものとそれとは違つてゐる特殊のものであることゝ、さういつた話を述べて見やうと思ふ。

うたのおけいこ　柴田秀子

一、この道ほそ道　山上武夫作詞　草川信作曲

この道ほそ道たんぼ道、學校へ行くとき歸るとき、みんなで仲よくとほる道

この道ほそ道たんぼ道、トテトテらつぱもいさましい、兵隊ごつこにとほる道

この道ほそ道たんぼ道、遠くの遠くのくすり屋さん、にもつを背負つてとほる道

この道はそ道たんぼ道、夜更けにやお山のコンぎつね、コンコンなきなきとほる道

二、麥笛吹いて　毛野草人作詞　成田爲三作曲

麥笛吹いて、雲雀を呼ばうよ雲の上まで、ひゞかせ吹かうよ

櫻の丘は、うらゝな日和、麥笛吹けば、雲雀が來るよ

そよそよ麥の、穗波をわたり雲雀子供、踊つて來るよ

海外ニュース　重水を召せ　—長壽の秘訣—

【ニューヨーク發國通】此の程ニューヨークで開催の第九回米國化學協議會に出席中の英國エヂンバラ大學化學敎授ジェームス・ケンダル博士は「但し老人に限る」と前置して長壽の新秘訣を發表した、一九三一年に發見された「重水」は老人の飲料として、よく生命の浪費を防ぎ、約十五年長命を樂しませるといふ、だからといつて重水を法外に飲んだら斷然長命を保てるかといふにさにあらず、極めて身體に有害の作用をするから先づ身體がなれるに從つて徐々に飲量を大とすればよい、適度に身體機能が緩慢となり無闇になくことも怒る事もなくなる、從つて働き盛りの男女に飲まれたら活潑に働く事も出來なくなるので此の重水は功成り名遂げ孫と遊び、盆栽いぢり、日向ぼつこ等專ら閑居生活の御老人向きだといふのである、まだ工業的に多量生產が出來ないのが玉にきずである

歌集「御空ゆく」を讀了して（四）

安永廣子

續遼東小景

渤海の紅き渦して沈む日を我克のしら帆隱さずもがな
露路裏の支那の娼家の柱にも正月に見る赤き春聯
みぎはみな凍りて白き一線を引きたる海に浮く船も無し
木を立てて殉職の名の並びたる貔子窩の墓に寒き風吹く
ひろびろと山を切りたる土の色いまだ新し海端の墓地
我もまたそこと知らねど滿洲へかかる寂しき墓となるらん

續南滿斷片

社宅をもこの夏建てん新京のひろ野に凍てて光るしら雪
慣はしと今はなりけん南嶺に行くさへ問ひぬ匪賊無きかと

建國當時の新京が目にせまり今や全く今昔の感と申す念を起させます當時の唯一の記錄だと存じます。

露天掘炭の段々くだるとて踏めば危しもろき敷板
石炭に琥珀の附する端くれも子の喜ぶと捨て難きかな
巨流河と岸の境を知りがたし沙漠に似たる沼澤の多
野の中の戰士の墓に花ならで多供へたり枯れ葉ひと束
兵匪きて新屯の危きを驛長ぞ言ふ世の常のごと
大遼河かちわたりする馬車もあり氷くだけて黒き水見ゆ
鵲ゐる十三層の白塔の古りしを仰ぐ朝の寒きに
錦州の古りたる街に日の本の旗建てならべ戶を鎖せるかな
大江の氷の上を通ふ陽われになづかしふるさとのごと
筏組み下るを待てる杣人のよろこぶと言ふ雪解水かな
山あひの曹達の土地の沙漠めくなかに靑みて畑すこし置く
威虎嶺のしげる木立に鳥鳴かず蔭に眞白し消え殘る雪
夕ぐれの驛の窓より見て長し敎化の街に通ふ野の路
新らしき首都となりたる三日のち新京の夜に雪の降り敷く
松花江中州も岸も氷して白きうへをばはしる自動車
一丈に餘る氷のうへ行きて猶危める我は小さし
二三本木あれば部落を思はしむひと日行けども似たる雪の野
電柱も旅のわが目をなぐさむる一つとなりぬ雪のひろ原
夜の更けて昻昻溪に今著きぬ汽車を出づれば吹雪するかな
外套に溜れる雪を拂へども凍りて落ちず夜の宿に掛く
齊齊哈爾の夕に著きて見る街の雪明りこそ親しまれけれ
放牧の馬ども廣き野の上に何を食めるや首垂れて立つ
大興の野よ泣かずして過ぎ難し戰士の墓の木のしるしにも

玄海を飛ぶ

三日ほど早く妻子に逢はんとて東京を立ち大空をとぶ
飛び出でて位置さだまれる機の下にはや神戶あり須磨明石見ゆ
霧うすれ靑く覗ける玄海を機上に在りてなづかしと見る
玄海の今飛び越えて我が來れば紅く入日す朝鮮の山
雲をもて秋風嶺を蔽したる七千尺の空を我れ飛ぶ
アカシヤの殘れる花も身に泌みつ今なづかしき滿洲に入る
備へつる馬賊も出でず汽車に見る山べの畑のしら罌粟の花
摘み得たる桔梗の花を手に盛りてこころ足るらん子ら歌ひ出づ
かへでの葉をりをり窓に觸れたるをかすかに聞きぬ晝のうたゝね
垂氷をば見て少年の日の戀し長き垂氷を嚙みしことなど
取り出でて高麗燒の古壺に一枝の椿させば慰む
紙の菊幼稚園より子の持ちて歸りきたりぬ旅に出づる日
われもまた世に倦まん日は林檎など植えつつ園の土に生きまし

玄海を飛ぶ、この部は私生活を主とせられた御歌多く二日ほど早く妻子に……や、紙の菊幼稚園より……のお歌には西田先生の家庭に於けるよき父上ぶりを拜見出來て母性の立場から一入感を深くいたされました。末だ玉寶を殘すの恨みあれども紙數限りあり終につゝしみて挽歌を拜誦筆をおさめたいと存じます。

挽歌

病む父の心いそげど空荒れて飛ぶよしもなし船に我が乘る
病む父よ千里の路を我れ過ぎて歸らん日まで生きてましませ
逢ひ難き子にも逢ひぬと病む父の泣きます前に言葉なし
我れを見て病む父泣きぬ子の我は淚みせじと傍に向く
我れを見て望み足れりと父ぞ泣く病めば望みの少なきものか
のたまひぬ遠き子を見て心足る今は死すとも惜しき事なし
死ぬきはに初めて淚流ると父のたまひぬ我の歸れば
病む父におん顏の色よろしなど言へば見せます瘦せし其の御手
おん病癒え難きをば知る父に束の間申す滿洲のこと
癒えがたき父を歎きて故鄕の師走の月の照る路を行く
このきはになほ新聞を見たまひぬ保ちまさんか父の御命
見て足りぬ疾く去り任に勵めよとなほ且つ雄々し病む父の聲
歸らんといとまを申す我顏を見つつ泣かじと努めます父
別れ來て唯二日なり父死すとこの電報の夢にあらずや
我を見てふたたび泣かぬ死の床の父の傍へに子の我れの泣く
故鄕のあまたの人と相みれば幼き日さへ思はるるかな
御祖らの碑の石ならぶ松蔭に淸き砂敷葬りまつる
山寺に父を葬り下る時さやかに照りぬ圓き夕月
亡き親の無量の慈悲を身に覺ゆ御墓の心の夕月のもと

西田先生の御健康を祈りつゝしみて筆を擱く。

幻影（九）

森田茂

—話せば分ることぢやありませんか。余り亂暴な眞似は止めて下さい。

私は夢中で叫んだ。固より話しても分る筈の相手ではなかつたが、彼の混亂は何時迄も果しがなかつたのだ。度外れた彼の行爲に對する烈しい怒りが、突然私の胸にこみ上げて來たのである。

—何を！生意氣な！

よろ〳〵と立ち上らうとする私に、彼は椅子をふり上げて投げつけた。椅子は僅かに外れて白い壁の粉末が散つた。私はビールを握ると彼を目掛けて投げつけた。電燈のかさが破れ額が壞れた。私達はまるで夢中であつた逆流した血が頭の中で渦を卷いた。私は猛然と彼に挑みかゝつたのだ最後のビール罎を投げつけると、私は勇を振つて彼に飛びかゝつて行つた。二つの肉塊はしばらく床の上で轉がり合ひ乍ら、烈しい亂鬪をつゞけてゐた。全く異常な錯亂のさ中で、私達は魂限り毆り合つたのである。私にはもう相手の眼も肉體も見えなかつた。たゞ最後にふり上げた腕の下から、相手の手に握られた白い刄物がきらりと光つたのを微かに意識してゐた。興奮の極が過ぎて、激しい亂鬪に疲勞し切つた肉體はそのまゝ動かなくなつたのであつた。

翌日、私は女の家で目を醒した。太腿のあたりにナイフの斬傷があつた。身體の節々が痛んで動くのは苦痛であつたが、私達は警察に出頭しなければならなかつた。然し私の取調べは案外簡單に濟み、そのまゝ放免されたのであるその日の新聞に、双を振つた主人の寫眞と共に痴情の喧嘩が報ぜられてあつたことは勿論である。

私は身體の回復を俟つてこの土地を去らねばならなかつた。別れる時、女はいくらかの金を包んで渡した。

—みんな私が惡かつたのです、とんだ御迷惑をおかけ致しましたわ。ほんの僅かですけれど、何かの御用に足して下さい。

女は泣いて氣の毒がるのであつたが、私はたゞ生活を貪るといとはしさを思ふのみであつた。

—僕には僕の氣持があつたのです。僕の氣持からしたことです、却つて貴方の生活を脅すような結果になるのではないかと恐れてゐる位ですよ

私は淚を浮べた女の前で、わけもなくから〳〵と笑へて來るのであつた。

あのロシアの老人を私は急に思ひ出し、その日城內のデパートを訪ねたのであつたが、しかし彼は既に不在であつた

私は鐵道を南に下つた。淡々たる生命の斷片を、なほも貪らんが爲であつたらうか—驛頭の雪に轍の跡が冴え返るような寒さであつた。（未完）

文學の多樣性と大衆引上げ

—木々高太郎の言葉—

木々高太郎の文章から拔き書をする。

「下宿の二階にごろついてカフエの女給と戀愛をすることより外に能のない、所謂私小說から脫け出ることの出來ない、純文學の貧困さを思ひ浮べる。……大衆文學の一角に、一團をなしてゐるやうな探偵文學と雖もその多樣性にだて、はるかに現代の日本の純文學を凌いでゐる。」（文學界六月號）

これは、滿洲に於ける多くの純文學の作品についても言ひ得ることである。「下宿の二階にごろついてカフエの女給へ戀愛をする」といふのは單的に最も著しい徵候を取り上げての言ひ方であるが、こゝでも大同小異、小說も詩も短歌もさうした程度のものが數に於いて大多數であることが知られる。

□　□

木々高太郎は大衆文學の側に立つ人としてもう一歩考察を進めることを怠つてゐない。彼は講談社が作家に對してつける註文の條項について考察してゐる。それから大衆文學に於いて光りかゞやく作品は「大衆のところ迄自分から下りてゆかず、大衆との通路を求め、あわよくば大衆を引きずり上げる」といふ態度を取つて書かれたものであるといふのである。

斯うした考察は在滿作家たちにとつても一つの示唆となるであらう。考へてよいことだと思ふ。（林野見正）

短歌

石田幸

○出そろひし街路樹の葉の淺綠一きわすがし雨後にして
○雨はれし朝に見ればさ庭べの雜草しるく伸び立ちにけり
○雨霽れし朝すがしも街路樹の靑みわたれる鋪行きつゝ

▲國都吟社

長春—コンクール開始

滿洲に於ける新柳人の奮起を促す新しい企てとして「コンクール」が國都吟社で發表された『コンクール規約』

一、選者
大連（寧柳吟社）大島濤明氏
大阪（番傘川柳社）小田夢路氏
奉天（大通川柳社）石原靑龍刀氏
新京（國都吟社）上倉泥柳氏
同（同）松尾小女郎氏

一、募集期間六月より八月まで

一、題及メ切月日
第一回　五月三十一日着便「朝」三句宛
第二回　六月十二日「成績」同
第三回　六月二十六日「ダンサー」同
第四回　七月十日「日章旗」同
第五回　七月二十四日「行水」同
第六回　八月十四日着便「守衛」三句宛

一、入賞發表　例會毎とし八月第二句會日を以て採點統計により一等より五等まで左の程度の賞品を授與す
一等三圓　二等二圓五十錢　三等二圓　四等一圓五十錢　五等一圓

一、參加費は受付ざるも一人三句を超過することを及匿名その他の手段を講じ投句したる場合は無効とす

一、投句は別封として新京八島通四六國都吟社千葉喜實坊宛とす

一、入選句の採點方法
特選　一句（七點）
准特選　三句（五點）
佳作　七句（二點）
平拔　句數任意（〇點）

新京日日新聞柳壇七月分發表課題
一、宿題「左」「喜」「泥」
一、締切　六月十日迄
一、宛名　新京八島通四六　國都吟社宛

書架

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し（係）

△ホーム・ライン（六月號）仲々親切さの溢れてゐる雜誌である、すでに廣告雜誌たる域を脫して一種の若者雜誌たる地位に達したものと言はれやう、現代風俗研究の資料として扱つていい記事等も多い（東京市日本橋區本町一丁目、ホーム・ライン社、十錢）

△雄辯（六月號）「新代議士名鑑」の特別附錄つき特大號である、この附錄は、新聞四頁大グラビヤ、印刷、各代議士の寫眞と、所屬、略歷、年齡など記入されてゐる、論策陣には新代議士道家齊一郞の「各國の動向と日本の革新」その他吉江喬松氏の「非常時局と文藝」佐藤喜一郞氏の「進め空の制覇へ」などがある、尾崎行雄氏の議會回顧記事「所謂共和演說と隈板內閣」成澤玲川氏の「壇上往來」は流石に古つはものゝ筆に成るだけのことはある、座談會記事に、いつも意表に出た取材ぶりを見せる本誌は此號に「郵便物よもやま座談會」を發表して、いよ〳〵その本領を發揮してゐる、創作陣の充實も、本號の特長の一つに數へてよいだらう、連載ものゝほかに、「藤作さんの入墨」サトウ、ハチロー「小母さん」長田秀雄「秀吉宗茂」矢田挿雲の短篇がある（東京、大日本雄辯會講談社）

家庭醫學

四十歳過ぎての疲勞恢復法

疲勞素が體内に蓄積されると中毒症状を起して早老を招く

疲勞の起る原因について、大體これまで信じられてきたのでは、筋肉、或ひは腦神經を働かした場合、その組織中に特別の物質――即ち疲勞素が發生して、これが

全身的に障碍を

及ぼし、疲勞感を起させると云ふのであります。

そしてこの疲勞素は、小量の場合には、睡眠や休息をとりますと血液の循環によつて同化作用が行はれ、體外に排出されてしまひますが、しかし仕事が過勞に亘る時はこれが體内に蓄積されて一種の中毒症状を起してきます。

殊に年齢も四十を過ぎてきますと、組織の生活力は次第に低下し、新陳代謝が衰へてきますので、一日や二日の休息ではなかなか疲勞がぬけず、種々の障碍を齎します。

まづ血管の内壁を刺戟して動脈硬化の誘因となり、膵臓や肝臓の内分泌腺を衰退させて早老を招き更に大切なことは、胃腸の働きが弱り、胃液の分泌不足や、食慾不振を起させ、胃腸病や結核の誘因となることであります。

ですから疲勞した場合には、勿論、休息して心身の安靜を保つことが必要ですが、それと同時に大切なのは榮養の攝取で豐富な榮養によつて細胞の新陳代謝を活潑にし、

疲勞素の排泄

が速かに行はれる樣、圖らなくてはなりません。

ところでこの細胞の新陳代謝作用に最も必要なのはビタミンBです。これは代謝要素といはれて居ります樣に、種々の食物――特に體精力の源泉となる含水炭素の代謝には、缺くべからざるものでありますから、これを豐富にとれば細胞の生活力も強まり、種々の原因から來る疲勞の害も除かれる譯ですが、その方法として最も簡易に行はれるのは活性ヘーフエ菌劑若素（わかもと）の服用でありませう。

この藥には

胃腸を強める成分

や、脂肪、含水炭素、各種ビタミン等の、人體に必須の榮養素が網羅されて居りますが、特にビタミンBは、生物中隨一の豐富さと云はれる程で、就中、最近の若素（わかもと）のビタミンB含有量は發賣以來苦心研究の結果、倍加することに成功し、他のヘーフエ劑或ひは酵母劑と云はれて市販されてゐるものに比して、斷然頭角を擢んでて居ります。

從つて之等の成分が綜合的に働く結果として、胃腸はじめ全身細胞が活潑になり、新陳代謝が促進されますので、疲勞も早く恢復し、早老の豫防や、胃腸病、結核、糖尿病等に對する抵抗力も增強されるのであります。

頭腦の働きを鈍らせる常習便秘の害

すべてに根氣がなくなり勉強が厭になる樣な子供は御注意

便秘すると、腸内に惡いガスや毒素が生じて、身體にいろ〳〵の害を及ぼしますが、特に勉強中のお子樣にあつては、そのために頭腦や神經系統の働きに惡い影響を與へますから注意しなくてはなりません。

例へば、なんとなく頭がぼんやりする、逆上せる、眩暈がする、根氣がなくなつて勉強が厭になると云つた樣な

◇…症状 は常習便秘のあるお子樣にあると云つてもよい程ですが、それが昂じてきますと、憂鬱症となり、精神病の樣な狀態を起してくるものです。

これについて、先頃珍らしい統計が發表されましたが、それによると、某不良少年收容團體にゐて、保護少年十四名についてその便通狀態を調査したところ、毎日便通のあると云ふのが僅に二人、一日おき二日おきと云ふのがどちらも一人宛と云ふ有樣で、中には十八日や二十二日目といふ者さへあつてその便通狀態は著しく不良でありました。

そして彼等は一樣に顏色が惡く始終喧嘩や、自暴自棄の行動を敢てするとの事ですが、之をみても

◇…便秘 の害が少年たちの頭腦――精神機能に惡影響を及ぼし、怠惰、自暴自棄を一層助長する樣な結果になることが想像されます。

ところでこの便秘の起る直接の原因は、何かと申しますと、大腸筋の弛緩や攣縮、或ひは腸内の分泌過少によつて蠕動作用が衰へ、排泄が順調に行はれなくなるためです。だから下劑を服んで、腸筋を刺戟し、或ひは分泌を補つたりするので一時的には通じはつくものですが、しかし下劑には腸筋の機能異常を根本から正しくする效果はありませんから、どうしても一時的を免れず、從つて連用すると習慣性になるばかりか、痛みを伴ふ等の副作用もあり、また下劑を用ひては惡い盲腸炎に氣付かず用ひて、命を失ふ人さへあります。

そこで最近では、こんな危險を伴はないで、便通をつけ、その上胃腸を丈夫にする若素（わかもと）の服用が推奬されだしました。

これはヘーフエといふ藥用菌から製られた藥で、この中に含まれた十數種の

◇…活性 酵素は消化を助け腸の攣縮や弛緩を正常に引戻し、又分泌の異常を恢復に導く效果がありますが、そればかりでなく腸内の有害細菌を喰殺し、毒素を解消する作用の秀でた成分も包含して居ります。

だから常習性の便秘も之を服用すれば、やがて快よい自然の便通がある樣になると共に、腸内の毒素や、それが釀す頭重、倦怠、眩暈等の症狀もだん〳〵解消してくる譯で、この藥理こそ若素（わかもと）が下劑でなくして、便秘の原因的療法藥として實用される所以であります。

この若素（わかもと）は東京芝公園大門内際、わかもと本舖榮養と育兒の會（振替東京一七〇〇〇番）から三百錠入、千錠入粉末九〇瓦入、二七〇瓦入等が一日分僅々五六錢（小兒には二三錢）の廉價で發賣されてゐます。尚、滿洲國、中華民國の各地藥店でも取次販賣してをります。

育兒體驗

母乳不足から消化不良兒に

（長野）本田こま子

私は昨年五月十一日八年振りで男子出産致しまして、一家の喜びはこの上もなく、長男の事ですから至れり盡せりの手數をかけましたが、當時發育十分ならず、消化不良便續出して、粘液便で白い粒々のものを混じ、なか〳〵肥えませんでした。

その後醫者へ行き診察を受け、育兒上の注意を聞きました處、私の産後の肥立ち惡く、衰弱し胃腸も惡く、母乳不足が原因してゐると云はれ、成る程と感じました。

早速「錠劑わかもと」が産婦や乳兒の發育によく效くといふ事を新聞紙上にて知り、早速買ひ求めて毎食後服用し始めました。乳兒には母乳の補ひに牛乳と重湯とを同量にして二百グラムを一日二回づつのませ、乳の後に「錠劑わかもと」を與へることに決めました。

ところが不消化の綠便や粘液便がなくなり私も大いに食慾を増し、乳も乳房に痛みを感ずる程に張り滿るやうになつて參りました。

嬉しいことには今迄瘦せてゐた愛兒も肥滿し、身體がどことなくしつかりして參りました。元氣も日々出て、片言ながら愛嬌のよい笑聲を盛んに發するやうになりました。

專賣總署職員の不正入札暴かる

出入商人と結託、私腹を肥す

主犯三名近く送局

專賣總署員が出入商人より金品の贈與を受けて不正入札を行はせてゐた醜事件が暴露し注目を惹いてゐる、新京署司法係では先月初旬專賣總署員と出入の印刷商人を繞る不正事實を探知し元專賣總署用度股長愛媛縣生れ奉天彌生町河原義一（四四）、同購買係鹿兒島縣生れ特別市義和路春田義秋（三七）及び新京東二條通一九印刷商平塚正直（三一）の三名ほか關係者を續々引致極秘裡に取調べを進めてゐたが、前記三名を繞る不正入札瀆職の罪狀明白となつたので、近く送局することゝなつた、事件の概要は次の通りである

日系官吏の瀆職事件

前記元專賣總署用度股長河原義一及び同購買係春田義秋の兩名は同總署に勤務中出入印刷商たる平塚正直と結託し昨年三月より本年三月に至るまで同總署の阿片煙膏包紙及び鹽票競爭入札及び納入に當り春田は平塚に或は入札前に豫算を内示し、或は指名入札者名を知らしめ、或は談合入札を勸誘して不當の利益を獲得せしめ、總署に對し巨額の損害を與へたのみならず僞契約書を作成して平塚に交付商策を有利に導きその謝禮として現金、物品總額二千一百圓の贈與を受けてゐた、又河原は前記春田の上役たる關係上昨年五月平塚の煙膏包紙納入遲延に對する過怠金二千四百圓を徴收すべきにも拘らず勝手にこれを免除しこれがため總署に該金額の損害を與へたるのみならず平塚よりは一昨年末より本年二月に至るまで約二千三百圓餘の現金、商品券等の贈與を受けてゐたものである、なほ右專賣總署員の瀆職事件を繞り新京康德印刷所外交員山本芳郎（二五）及び同協和オフセット印刷所外交員金谷年百（二五）外一名は前記平塚の落札及びその他の入札に關し談合金を受ける目的をもつて平塚を脅迫、談合金を獲得横領してゐた事實判明し取調べを受けてゐたが、取調べ終了したので河原等とともに一括送局されることゝなつた

【寫眞は右上から河原義一、春田義秋、平塚正直、左上から金谷年百、山本芳郎と專賣總署全景】

"憎むべき行爲"

藤島署長、小島司法主任談

苦心！月余に亙つて漸く調査を終へ此度發表の段取りに迄こぎつけホッと一息した藤島新京署長は

同系官吏の中から斯かる不心得者を出したのは全く遺憾に堪えない、殊に今度の事件の様に談合して惡事を働く等は全く憎むべき行爲だ、犯人は前記五名だけで連累者はもうゐないが將來かかる問題があればどし／＼嚴重に處罰する方針である

と語り、小島司法主任は次の如く述べてゐる

日本の官吏であれば當然收賄罪となつて嚴罰に處せられますが滿洲國の官吏ではそれが適用しませんし、滿洲國側でも日本人には治外法權があるので取調べる權利がないので結局滿洲國の法規にも適用することは出來ません、まあ、背任罪あたりになるのではないでせうか

"責任は私共に"

―灘波副署長語る―

專賣總署副署長灘波氏は此度の瀆職事件に關し責任は充分痛感してゐますと前程し大要左の如く述べてゐる

全く何とも申譯ありません四、五日前にも管下の全職員に對して嚴重訓戒を與へました、將來は特に嚴重に監督する心算です、然し何と申しましてもかかる事態を惹起したことは私共の不德の至すところですから既に財政部に辭表を提出してあります

首都青年訓練所

昨日開所式

首都大新京の滿人青年の指導機關たる首都青年訓練所開所式は廿一日午後二時より三道街の同所で來賓名士の多數參列の上擧行された、生徒卅八名はカーキ色の青訓服も凛々しく二階講堂に參列、皇居遙拜、國歌齊唱後市公署行政處長の回鑾訓民詔書奉讀後、軍政部、民政部兩大臣の訓詞（代讀）さらに協和會首都本部長および同訓練所長の訓詞、後財政部大臣の祝辭（代讀）あり生徒代表の金立範君が協和精神に立ち未來の指導者をもつて任ずるけなげな宣誓を行ひ萬歳を三唱して午後三時盛會裡に閉會した（寫眞は開所式）

半島人の行倒れ

二十一日午前十一時頃新市場共同使用所附近で年齢三五、六の半島人男の行倒れがあつたので此の旨領警署に屆出で來たが住所氏名其他一切不明である

鄕土の歡喜にひらく

大屯の娘々祭

廿六日から五日間盛大に擧行

農繁期を終へほつと一息ついた滿洲國農民大衆の待ちに待つ娘々祭はその鄕土的色彩も豊かに酣の春と共に全滿各地の娘々廟にて殷盛に行はれるが、これら娘々祭のトップを切つて新京郊外大屯娘々廟祭は來る二十六日から五日間盛大に擧行される、期間中は山麓一帶に定期市が立ち、鐵道では汽車賃の半額割引きを行つて參詣者に破格のサービスをなし、千里の道も遠しとせずこの娘々祭を目ざして蝟集する群衆は昨年は約二十萬と言はれ協和會其他機關ではこれを機會に王道思想の普及に努め恩賜財團普濟會の施藥、余興芝居の無料公開、活動寫眞に打上煙火等の催物の外例年非常に其數を増して行く日人參拜者のため新京觀光協會の斡旋で日人の飲食店賣店なども出ることになつており、展望美事な大屯阜豊山を背景に今からその華麗盛大さが忍ばれるが、同期間中嚴肅盛大に執行される祭典式次第はこの程次の通り決定、目下各關係機關で準備を進めてゐる

▽五月二十六日（舊曆四月十七日）
開廟祭（行三獻禮）
主祭者　娘々廟會後援會長

▽五月二十七日（舊曆四月十八日）
萬歳牌奉迎
正日祭典（行三獻禮）
主祭者　長春縣長
陪祭者　各地方團體
參加者　當地小學校

▽五月三十日（舊曆四月二十一日）
萬歳牌奉還

Z旗の榮光に記せ！

"無條約第一年"

第卅二回海軍記念日迎へて

國都の諸行事決る

第三十二回海軍記念日の國都の行事に關する打合せ會議は廿一日午後一時から滿鐵新京事務局會議室に於て駐滿海軍部林副官、竹久中尉、岩坂海友會長、總領事館中村書記生、滿鐵高山社會主事、伊藤係員特別市公署黒田係員等出席左の如く決定した。即ち記念式は午前十一時から西公園海軍忠魂碑前にて駐滿海軍部司令官以下各幕僚部員、主催者、來賓、遺族、協和會、在鄕軍人海友會、長勇會、日滿各學校國防婦人會、一般市民等參列の下に盛大に擧行、式典終了を俟つて一大奉祝野宴を開き解散、午後一時からは西廣場小學校講堂で武道大會を開催士氣を鼓舞し午後八時からは西公園（第一會場）大經路小學校（第二會場主として滿洲國人）に於て映畫と講演會を開催第一會場では四戸友太郎氏『日露戰役を回顧して』駐滿海軍部副官林少佐『海軍記念日所感』と題して講演ついで映畫太平洋（十二卷）民謠集（五卷）光輝日本（九卷）を上映、第二會場では映畫につき滿洲語で講演をなし大いに海軍思想を普及する筈である、なほこのほか記念日の前後各中等學校に於て駐滿海軍部幕僚の海軍講話をなし記念日當日滿洲國江防艦隊司令官尹中將はハルビンよりマイクロフォンを通じ『友邦の海軍記念日に就て』と題してラヂオの全滿放送をなす等當日は全滿洲海軍氣分一色にとけ込む豫定である

應援團猛練習！

滿鐵運動會愈よあす

三十の滿鐵魂が覇を競ふ待望の滿鐵三十週年記念新京陸上大運動會は二十三日午前八時から西公園内滿鐵運動場に於て開催されるが紫、綠、褌三軍の應援團は連日猛練習に聲をからしてゐる、寫眞は事務局屋上で紫軍本島應援團長の指揮にて練習中の紫軍應援團

第二次春競馬けふから

ガラ〱ツと廻れば

ソレ二萬五千圓

今度の頭彩はてつかいぞ！

頭彩二萬五千圓を呼物とする新京倶樂部春季第二次競馬はいよいよ二十二日を第一日として左の日程を以て開幕となる、今次は第一次が荒天續きで客足に惠まれなかつたのに引かへ氣候も大分夏らしくなり新綠燃ゆる大房身の跳をほしいまゝにしつゝ競馬のスリルを滿喫せんとするファンが多數押寄せ一段と活氣を呈するものと見られて居るファン待望障碍競馬が秋季第一次に延期されたことは多少期待外れの氣持もないではないが第一次が大穴續出でファンの血を湧かしたのと例の馬政局發行の頭彩二萬五千圓の大ガラが今次最終レース古抽優勝競走にリンクされるので競馬に對する街の人氣はますます上昇して行く

△第二次開催豫定日（五月）廿二日、廿三日、廿九日、卅日（六月）五日、六日、十二日、十三日

萬雷の如き歡呼裡に

神風號歸還

廿一日午後三時四十五分着陸

【東京國通】神風號は廿一日午後三時四十五分萬雷の如き數萬の歡呼裡に羽田飛行場に着陸、目出度く亞歐連絡飛行を完成した、「空の覇者神風號歸る」この日歡迎の大アーチに飾られた羽田空港は朝來の降雨を衝いて押し寄せた青少年團、小學校生徒、國防愛國婦人會その他各團體の群衆五萬で、朝日納庫前の新設式場は身動きもならず、今や遲しと待構へてゐる、その間東久邇宮妃殿下、白川宮、竹田宮大妃兩殿下を始め來り各閣僚、阪谷帝國飛行協會長、各國大公使その他朝野の名士が續々來場、降りしきる雨もものかは空港は今や歡迎神風の唯一色に塗りつぶされた、午後三時四十五分機影見えたとみるや隼の様に水沫をあげて見事に着陸した、わつと歡聲をあげて雪崩れよる群衆の中で機上からひらりと降立つた英雄飯沼、塚越兩氏、亞歐往復三萬キロの鵬程を征服した疲れもみせず、元氣なその姿は忽ちのうちに花束に埋もれた、兩氏は陸海軍々樂隊の奏する勇壯なマーチのうちに上野東朝社長と堅い握手、兒玉遞相は壯擧完成を賞する勳章旭日單光章を兩氏の胸間に飾る感激に幾分頬を紅潮させた兩氏は壇上に立つて歸還の挨拶を歡迎群に試みた、つゞいて歡迎宴會場で冷酒とビールの乾杯、各大臣、名士の祝辭を浴び村山朝日取締役の發聲で「天皇陛下萬歳」が高唱された高橋三吉大將の音頭をとる「兩勇士萬歳」が爆發する劇的シーンが展開された、終了後兩勇士は自動車で銀座に向ひ群衆歡呼のなかを二重橋前へ、そこで恭々しく歸還報告の奉拜を行ひ更に明治神宮に參拜東京朝日新聞社に入つた

張總理の祝電

神風號無事歸還の報に張國務總理は二十一日正午大阪朝日新聞社長上野精一氏宛左の祝電を發した

神風號無事歸還を祝し、本壯擧により日本航空界の精華を弘く世界に發揚し、東洋人のために萬丈の氣を吐かれたることは衷心欣快に堪へず

今日の野球

新京野球リーグ戰第一日（西公園グラウンド）
入場式―午後四時　始球式―午後五時十分
試合　滿洲國―電々
（新京倶樂部後援會員は入場無料）

白菊校運動會

白菊小學校では二十二日午前八時半から第一回春季運動會を催す

プレンソーダ

北滿一帶にポテトーを作つてアルコールを造ればガソリン問題と食糧問題は立どころに解決すると北滿大農組織を高調してゐた松岡滿鐵總裁▲物價が暴騰してくると物を作つて錢に代へるより手つとり早い金を摑れと云ふ▼東邊道一帶は神様がいよ〱といふ時の用意に日本のためにとつて置いたところで全山これ皆金だと仰言る▼然らば何か確かな證據があるかと問へば總裁済ましたもの『そんなことは理窟でいかぬちやんと俺しのカンにある』とぽんとお出額を叩いたのには對手も二の句が繼げず目をぱちくち

髑髏組（九十八）
（映畫化上演）
林杢兵衛
金子士郎畫

釣の手（四）

鉄太はいくらか腹鉄ついたが、素知らぬ體で、
「寒いからチン〳〵が釣れるんですよ、旦那……」
「チン〳〵とは何んだ？」
「黒鯛の小せえ奴でさア」
「ほゝう、餘程餌にかつへた黒鯛と見へるなう。人間で云ふなら、先づ差し當り拙者のやうな、扶持に離れた痩浪人で、其方達の智慧に甘んじてゐる意氣地なしか、この寒空に釣り上げられて生命を取られる不憫な奴さ」
「旦那、氣持の悪いことを仰有りつこなしですよ」
話しながら早くも鎌倉河岸。來て見ると、其處に待つて居る筈の小六の姿が見えない。さては寒さに辟易したのか？
星の明りに透かして見ると、下に一艘の船が繋いである。

鉄太は覗き込んで
「此の船に違えねえが……ブルブルッ― おゝ寒、小六の野郎何處へ行きやがつたんだらう？」
ぼやいて居る處へ、何處で飲んだか一杯機嫌の鼻唄交りで、釣道具を小脇に、艪を擔いでやつて來た。
「大抵にしねえか、此の寒いに、何處へ行つてやがつたんだ？ ヤツー 小六、手前飲んでやがるな？ 危ねえぜ」
鉄太が鼻で熱柿のやうな小六の呼吸を嗅ぎ咎めた。――危ねえぜ――は何を意味する？
「大丈夫だ。小六の育ちは海人の本場の志摩の國さ。心配するねえおッとッと、へッ、へッ酒が廻ると、口がいやに輕くなつて、いらねえ腿たまで叩きたくならア。へイ旦那、大きにお待たせ致しやした。折悪しく船頭の野郎が居ねえもんで御座んしたからねえ」
「その方が結局幸ひかも知れん。どうせ釣られに出た三人だ」
……

「まゝいゝ。其方が海人の本場の志摩育ちだから、失禮委せて、大船に乗つた心持で出掛けやう、なう鉄太」
「へッ、へッ何んだかあつしや氣持が……」
「心配するねえ。俺は旦那。あつしが使えやすから大丈夫で御座んすよ」
鉄太と小六の魂膽を知つてか、それとも知らないでか、刑部は船に乗つて泰然たるものだつた。
瞞したつもりか瞞まされたつもりか、まるで狸と狐の瞞し合ひのやうな一行三人は、とに角同じ船に乗つて鎌倉河岸を離れ、スイスイと滑らかに水を辷つて川口へ下つた。
青黒い深淵のやうな空の奥底から、星が蛇の眼のやうに冷たく光つてゐる。

見返れば、河岸に並ぶ低い家々の窓から燈火がぼうッとした縞のやうに見え、それがまた海面にゆら〳〵と、ゆらめいて水に流れてゐる。
刑部は、小六の器用にあやつる艪の手を飽かずにながめて感心した。
「なる程、海人の國志摩育ちだけあつて鮮かなものぢやなう」
「御館で愈々喰へなくなつたら、今度は差配船頭で御座んすねえ旦那」
「うむ、それもよからう。時に鉄者、一度其方達に訊いて見たいと思つてゐることがあるんだが……」
「何んで御座んす？ 旦那」
小六に代つて鉄太が答へた。
「つい近所に、何んとか云ふ御用聞きがあるなう」
「へい、茂十親分で御座んすか、あすこはあつし共の上得意で御座んしてねえ」
「さうらしいなう。其方達は毎日其處へ顔出しをするのか？」